

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	13514	事務事業名	社会福祉総務一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 介護予防の推進			【実施なし】	-%
	推進施策の展開	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。				25年度市民評価の満足度
					[]	%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を):	意図(どういう状態にしたい): 課内の業務の円滑化		事業の内容 (手段)	福祉部、高齢者支援課、各総合支所福祉担当課の一般事務費 訪問歯科診療の推進のため、訪問歯科診療事業の補助を行う。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	福祉部、高齢者支援課、各総合支所福祉担当課で業務の円滑な遂行ができた 訪問歯科診療の推進のため、徳山歯科医師会活動費の一部を補助						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
								直接事業費	千円	753	987	957	1,048	1,048			
事業目標	目標名	—		計算式	—		単位	-		事業費	(予算額) うち一財	千円	726	960	954	1,048	1,048
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	689		933	対27年度増減理由		対28年度増減理由			
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	689		933						
	実績値	—	—	—			正職員人件費	千円	11,354		518						
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	1.55		0.07	0.10					
	支出コスト		千円	決見) 12,043													
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否					
	① 社会福祉総務一般事務費 (経常的事務事業)		福祉部、高齢者支援課、 総合支所福祉担当課の一般事務費	福祉部、高齢者支援課、 総合支所福祉担当課の業務が円滑に進む。	福祉部、高齢者支援課、総合支所 福祉担当課の業務の円滑化を図る。	福祉部、高齢者支援課、総合支所 福祉担当課の業務が円滑に進められた。	正職員	0.06	臨時等	0.01	直接事業費	533	委託	否			
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 ■ コスト □ その他			細事業評価		B		改善案		経費削減に努めながら事業を継続する。					
	② 徳山歯科医師会活動費補助金 (経常的事務事業)		歯科へ通院不可能な高齢 障害者	徳山歯科医師会の会員の 研修及び事業費補助により 口腔衛生の推進を図る	徳山歯科医師会の会員の研修及び 事業費補助により口腔衛生の推進を図る	【訪問件数】1,331件	正職員	0.01	臨時等	0	直接事業費	400	委託	可			
細事業の課題		■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他			細事業評価		B		改善案		補助金交付基準に沿った補助金であり、補助対象事業の必要性も高いが、訪問歯科診療数の増加などにより補助金交付がなくなるとも運営できる可能性があるため、交付団体と協議を行う。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時
	③											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	高齢化が進み、事業の必要性が高まっている	前年度までの指摘事項	徳山歯科医師会と協議を進め、廃止を含めて検討が必要である。	指摘事項に対する改善状況	補助金については、徳山歯科医師会と廃止について検討する。一般事務費は経費節減に努める。
	細事業の課題・問題点	徳山歯科医師会活動費補助は、訪問歯科診療数の増加など介護予防に貢献しているものの、補助金なしでも運営できる状況のため、徳山歯科医師会と協議をしていく必要がある。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	一般事務費の削減に努めつつ、補助金について徳山歯科医師会と協議が必要。	改善案	補助金については、徳山歯科医師会と協議を進めていく。
----	---	---	------	-------------------------------------	-----	----------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	補助金については、徳山歯科医師会と協議を進め、廃止を含めた検討が必要である。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
前年度当初予算額の範囲内で経常経費を反映させた。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	13517	事務事業名	社会援護総務一般事務	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ11 地域福祉の推進	基本方向	公的な福祉サービスと住民相互で支えあう地域福祉の体制が融合するまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域福祉活動の促進			【実施なし】 -%	
	推進施策の展開	社会福祉協議会や地域福祉活動団体等と連携し、地域福祉の課題解決に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【 】 %	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 全市民	意図(どういう状態にしたい): 日本赤十字の事業を円滑に推し進める。 不慮の災害等発生時、迅速な対応を行う。	事業の内容 (手段)	不慮の災害等発生に際し、り災者に対し迅速な救助を行う。 献血の周知や、献血者増に向けてイベントの実施 災害救助等にかかる援護関係の一般事務費		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	献血 市内130箇所にて実施 特別弔慰金及び特別給付金の受付・相談事務 小規模り災支支払い件数 10件 920,000円 ※消防からの通報で待機・出動した件数は11件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費	千円	1,115	1,082	1,904	1,082		1,082								
事業目標	目標名	献血実施回数	計算式	実施回数	単位	回	(予算額) うち一財	千円	1,082	1,050	1,868	1,047	1,047			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	527	1,078		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	目標値	100.0	100.0	130.0	140.0	140.0	(決算額) うち一財	千円	491	1,043						
	実績値	134.0	133.0	130.0			正職員人件費	千円	1,831	2,219						
	達成度(%)	134.0%	133.0%	100.0%			人工数	人	0.25	0.30	0.39					
							支出コスト	千円	決見) 2,358							
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否					
	①	日赤業務 経常的事務事業	日赤周南市地区事務局 周南市献血推進協議会事務局	不慮の災害等発生時、迅速な対応を行う。輸血を必要としている患者の尊い生命を救うために活動を行う。	災害救護や社資募集、各種救助法講座等の取りまとめを効率的に行う。 献血の開催日時・場所を広く周知する。	災害救護活動、募金、義援金の受付、社資募、山口県赤十字血液センターが行う献血活動補助及び広報、イベント	正職員	0.24	臨時等	0.02	直接事業費	0	委託	否	臨時嘱託	可
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価		A	改善案		-						
	②	福祉避難所等に関する業務 経常的事務事業	災害等に備え計画し、災害時は連絡調整を行う	不慮の災害等発生時、迅速な対応	福祉避難所の指定し、災害時により充実させる	福祉避難所の充実のための検討	正職員	0.03	臨時等	0	直接事業費	0	委託	否	臨時嘱託	可
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価		B	改善案		-						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否	
	③	社会援護総務一般事務費	社会援護総務一般事務 (遺族援護)	社会援護事業(遺族援護) における事務的経費	対象者に対して迅速に対応する	特別弔慰金事務における事務		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
		0.01							158			
	経常的事務事業											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価									
	細事業の課題		—			A	改善案	—				
	④	小災害り災見舞金支給	災害のり災者	り災者に対し、必要に応じて援護を行い、被災の程度により見舞金を支給する。	不慮の災害等発生時、必要な援護を迅速に行う。	小災害り災見舞金の給付 10件 920,000円		0.02		920	否	否
		経常的事務事業										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価									
	細事業の課題		—			A	改善案	—				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	献血事業については、献血者数は年々減少傾向にあることから、200ml献血ではなく400ml献血限定となりつつある。近年、国内でも災害が多発し、災害時にとるべき行動についてきちんと対策を講じ、関係機関との連携など体制整備について必要性が高まっている。	前年度までの指摘事項	公益性が高い事業のため、早急に実施したい	指摘事項に対する改善状況	経費節減に努めながら今後も、事業の充実を図る
	細事業の課題・問題点	若年層の献血協力率が低い。400ml限定献血の減少が見られる。福祉避難所運営マニュアルの整備や関係機関等と連携した避難行動要支援者名簿の活用が必要。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同じ	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	市民の安心安全のため、効率的に事業を実施したい	改善案	献血事業については、山口県赤十字献血センターと協力して事業所においていただくとともに、広報等を通じて会場・時間を周知する。福祉避難所の充実を図る。
----	---	---	------	-------------------------	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	公益性が高い事業のため、福祉避難所の指定から緊急時に早急に対応できる体制を整備・実施したい
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
特別弔慰金及び特別給付金の受付・相談事務の初年度(平成27年度)に計上した臨時職員の賃金及び社会保険料を減額した。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	013519	事務事業名	社会福祉法人指導監査事業費	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ11 地域福祉の推進	基本方向	公的な福祉サービスと住民相互で支えあう地域福祉の体制が融合するまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 地域福祉活動の促進			【 実施なし 】 %	
	推進施策の展開	社会福祉協議会や地域福祉活動団体等と連携し、地域福祉の課題解決に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【 実施なし 】 %	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 社会福祉法人が適正な運営を行い、市民も適正なサービスを受けることができる。(対象:19法人)	事業の内容(手段)	地域主権推進一括法の施行に伴う社会福祉法人所轄庁の県から市への権限移譲事務。市内社会福祉法人の定款の認可、指導監査の実施。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○権限移譲後、周南市として2回目の社会福祉法人の設立認可を行った。 ○市所管社会福祉法人19法人のうち、10法人の指導監査を実施した。 ○社会福祉法人指導監査員を設置し、監査員による会計経理の指導等を実施した。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
							直接事業費	千円	1,952	2,114	2,201	2,152	2,152	
事業目標	目標名	社会福祉法人運営の適正化の推進	計算式	文書指摘のなかった法人数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,951	2,113	2,200	2,151	2,151
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,870	2,053		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	(決算額)	うち一財	千円	1,870	2,053			
	実績値		3.0	0.0			正職員人件費	千円	11,354	11,832				
	達成度(%)		60.0%	0.0%			人工数	人	1.55	1.60	1.60			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費		委託		臨時嘱託	
	①	社会福祉法人指導監査(経常的事務事業)	社会福祉法人	社会福祉法人運営の適正化及び透明性の確保の推進	社会福祉法人の指導監査を計画的に実施し、法人運営の適正化を推進する	社会福祉法人指導監査を10法人実施	1.4	1	2,030	否	可			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 県から権限移譲されて2年目となるが、指導監査には社会福祉法人会計基準等の専門的な知識が必要であり、問題事項の精査に時間がかかった。						細事業評価							
②	社会福祉法人定款認可(経常的事務事業)	社会福祉法人	市が所轄する社会福祉法人の定款等の認可及び承認	法の改正等により、変更が生じた社会福祉法人に関する事務について、迅速かつ適正に対処する	社会福祉法人設立認可及び、社会福祉法人定款認可等	0.2		23	否	可				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 定款変更の手續や現況報告書等の公表について、法令や審査基準に沿った指導の徹底を行う必要がある。						細事業評価								
						A	改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
		細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案					
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	地域主権推進一括法の施行に伴い、平成25年度より社会福祉法人の所轄庁が県から市へ移行したことにより権限移譲された事務である。	前年度までの指摘事項	平成25年度より権限委譲された新規事業であり、監査体制の充実が急務であると考え。所管課評価のとおり、特に、会計について専門的知識の取得について、対策が必要である。	指摘事項に対する改善状況	平成26年度から公認会計士を社会福祉法人指導監査員として任用し、指導監査に同行することで効果的な指導監査を実施した。また、職員においては積極的に研修を受講した。
	細事業の課題・問題点	平成25年度より県から権限移譲された事業であるが、特に社会福祉法人会計基準は官庁会計と異なり、公務員に馴染みのないことから、専門的な知識を必要とする問題事項の精査に時間がかかった。	事業全体の課題・問題点	社会福祉法人指導監査は、専門的知識を必要とする業務であり、職員の育成と知識の取得に時間がかかる。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	指導監査の専門的知識を習得することにより、効果的・効率的な指導監査を実施し、社会福祉法人の運営水準の向上を図っていく必要がある。	改善案	公認会計士を社会福祉法人指導監査員として任用し、指導監査に同行することで効果的な指導監査を実施する。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	平成25年度に権限移譲された事業であるが、今後見込まれる社会福祉法人制度の改革に対応できるよう、引き続き監査体制の充実を図る必要がある。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500103
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(3)社会福祉法人の指導監査の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政				
事務事業コード	13526	事務事業名	老人福祉一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ11 地域福祉の推進	基本方向	公的な福祉サービスと住民相互で支えあう地域福祉の体制が融合するまちづくりを進めます	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域福祉活動の促進			【実施なし】 -%	
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための、きめ細やかな介護相談体制の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【 】 %	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 高齢者を含む一般住民	意図(どういう状態にしたい): 課における円滑な事業実施ができると共に、窓口での市民サービスに努める。	事業の内容 (手段)	福祉調整担当、各総合支所福祉担当課の一般事務費		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	課内及び各総合支所福祉担当課で業務の円滑な遂行ができた。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
								直接事業費	千円	674	446	534	534	534			
事業目標	目標名	—		計算式	—		単位	-		事業費	(予算額) うち一財	千円	674	446	534	534	534
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	574		260	対27年度増減理由		対28年度増減理由			
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	574		260						
	実績値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	1,831		1,183						
	達成度(%)	—	—	—	—	—	人工数	人	0.25		0.16	0.06					
							支出コスト	千円	決見) 2,405								
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否						
	① 老人福祉一般事務費 (経常的事務事業)		在宅老人に対する各種施策事業に係る一般事務経費	課における円滑な事業実施	高齢者関する相談等窓口業務を円滑に行う。	事務費の削減 窓口での接客で、サービスの向上に努めた。		正職員	0.16	0.5	260	委託	否	臨時嘱託	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 事務の効率化を図りながら、事務費の削減に努めるとともに、窓口の市民サービスに努める。			B	改善案	事務費の削減を図りながら、事業を進める。									
	②																
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価												
						改善案											

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
		細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	ひとり暮らし高齢者、寝たきり高齢者、高齢者のふたり世帯等が増加しており、複雑・多様化する高齢社会に対応する人的体制の確立が望まれる。	前年度までの指摘事項	必要な事業であるが、経費削減に努めること。	指摘事項に対する改善状況	経費削減に努めながら執行している
	細事業の課題・問題点	在宅老人に対する各種事業以外に、福祉調整・高齢者支援担当が進める施策を実施するために、予算、決算、経理等の庶務的業務により、事務量が増加している。		事業全体の課題・問題点		細事業の課題・問題点に同じ

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	老人福祉法規定の事務であり、継続して行う。	改善案	人件費や事務費の削減を図りながら、事業を行っていく。
----	---	---	------	-----------------------	-----	----------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	経費削減に努め、事業実施すること。
----	---	-------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	900204
分野	9行政経営
基本施策	2将来を見据えた行政経営
推進施策	(4)その他

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
高齢者福祉事務に必要な経費について前年度と同額を計上	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	461008	事務事業名	民生委員活動事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ11 地域福祉の推進	基本方向	公的な福祉サービスと住民相互で支えあう地域福祉の体制が融合するまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域福祉活動の促進			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	地域福祉の担い手となる民生委員・児童委員の活動を助成します。			26年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)		対象(誰を・何を): 民生委員・児童委員 各地区民生委員児童委員協議会 周南市民生委員児童委員協議会	意図(どういう状態にしたい): 民生委員・児童委員が、高齢者の見守り、安否確認など地域福祉の担い手となる。 (研修参加者 H27目標:800人)	事業の内容(手段)	・民生委員推薦会の開催。民生委員推薦会の幹事及び書記、民生委員児童委員協議会の事務局 ・県や県社協等が開催する各種研修会への民生委員・児童委員の参加促進	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市民生委員児童委員協議会の理事会を毎月開催し、福祉施策の説明を行い行政との情報の共有を図り、県主催の研修の参加者調整を行い、民生委員の研修会への参加促進を図った。また、民生委員協議会の活動を助成した。								直接事業費	千円	49,637	48,201	48,196	49,876
事業目標	目標名	研修参加者数		計算式	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	25,407	23,971	23,964	25,619	23,964
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	48,487	47,876				
	目標値	800	800	800	800	800	(決算額)	うち一財	千円	26,443	23,640			
	実績値	773	695	733			正職員人件費	千円	2,857	2,810				
	達成度(%)	96.6%	86.9%	91.6%			人工数	人	0.39	0.38	0.52			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	① 民生委員・児童委員推薦事務		新任または再任の民生委員・児童委員の候補者	民生委員・児童委員を県知事に推薦する。	民生委員推薦準備会から候補者の推薦があれば、できる限り早く会議を招集し、候補者を県知事に推薦する	欠員3名→欠員0名に。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	可
	② 市民児協事務局		周南市民児協の事務局	周南市民生委員児童委員協議会の各種事務を行う。	各委員が業務に集中できるように、各種調整を効率的に行う			0.33	0.8	1,627			可	可
	③ 経常的事務事業							細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	民生委員児童委員活動費補助金交付 経常的事務事業					周南市民児協、地区民児協、委員個人	地域福祉推進の要である民生委員・児童委員の資質の向上を図る、多岐にわたる活動を援助する。	民生委員推薦準備会から候補者の推薦があれば、できる限り早く会議を招集し、候補者を県知事に推薦する	正職員	臨時等	直接事業費
			0.01	0	45,957					可	可	
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					A	改善案	-				
	④											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	高齢化による見守り件数が増加し、児童に関する相談も増加傾向にあり、民生委員・児童委員の業務は増加しており、内容も複雑化している。	前年度までの指摘事項	高齢者施策・地域福祉の中核を担う存在であるため、できる限りの助成を行いたい	指摘事項に対する改善状況	補助金額については財政状況等により、必要に応じて検討を行っていく。
	細事業の課題・問題点	民生委員の高齢化が進んでおり、次の世代の呼び込み・育成が必要となる。ニーズに対応できるよう、資質の向上を図りながら、業務の軽減を図り、多方面から民生委員・児童委員を支援する必要がある。補助金の市単独部分については、毎年検証していく必要がある。	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同じ		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	事業そのものは計画通りに進めていくが、市単独補助金については毎年検証する	改善案	補助金については財政状況等により、必要に応じて検討を行う。
----	---	--	------	--------------------------------------	-----	-------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	高齢者施策・地域福祉の中核を担う存在であるため、可能な限りの助成を行いたい
----	---	---------------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
民生委員・児童委員の一斉改選に伴う臨時的経費(推薦会の開催に伴う委員報酬、委嘱式に係る会場設営費等)及び民生委員制度創設100周年記念事業負担金の増額分を反映	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	461011	事務事業名	遺族関係事業費	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ11 地域福祉の推進	基本方向	公的な福祉サービスと住民相互で支えあう地域福祉の体制が融合するまちづくりを進めます	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域福祉活動の促進			【実施なし】 -%	
	推進施策の展開	社会福祉協議会や地域福祉活動団体等と連携し、地域福祉の課題解決に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【 】 %	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 戦災犠牲者に対する弔慰、平和祈念及び遺族への援護	意図(どういう状態にしたい): 戦没者、戦災犠牲者に対する弔慰することで、平和への祈念や先祖を敬う気持ちを醸成する。 (追悼式参加率 H27目標:20%)	事業の内容 (手段)		先の大戦において亡くなられた戦没者、戦災犠牲者に対する弔慰と遺族の援護を行う。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	周南市戦没者追悼式は、遺族会の協力を得ながら、毎年5月10日に開催している。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	1,037	1,103	1,107	1,145	1,145
事業目標	目標名	参加率	計算式	参加者/案内はがき発送数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,037	1,103	1,107	1,145	1,145
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	958	984		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	25.0	25.0	20.0	20.0	20.0	(決算額)	うち一財	千円	958	984			
	実績値	18.6	18.5	18.8			正職員人件費	千円	2,271	2,884				
	達成度(%)	74.4%	74.0%	94.0%			人工数	人	0.31	0.39	0.57			
							支出コスト	千円	決見) 3,229					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①		戦没者追悼式の開催 経常的事務事業	戦没者、戦災犠牲者の遺族	先の対戦で亡くなられた戦没者、戦災犠牲者に対し弔意を表し、平和を祈念する。	戦没者の慰霊すると共に、遺族をはじめ、多くの方に参列していただけるようにする	H26周南市戦没者追悼式の開催	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時囑託		
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
	細事業の課題		遺族が高齢化し、参列者が年々減少傾向である。				B	改善案	追悼式の開催に係る経費の削減を図りながら、追悼式の内容については、連合遺族会とよく協議を行いながら検討を行う。					
②		戦没者遺族援護 経常的事務事業	戦没者、戦災犠牲者の遺族	先の対戦で亡くなられた戦没者の慰霊及び、遺族への援護	遺族を援護すると共に、平和を祈念する。	全国戦没者追悼式参列者選考、遺族への巡回慰霊の周知、原爆投下、終戦日にサイレン吹鳴	0.21	0.01	0	否	可			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		-		細事業評価								
						A	改善案	-						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時
	③											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	年月の経過と共に、遺族の高齢化と減少が進んでいる。	前年度までの指摘事項	戦争の悲惨さを後世に伝えるためにも必要な事業であり、参列者を増やすために開催方法の見直しが必要である	指摘事項に対する改善状況	追悼式の開催にあたっては経費の削減に努め、内容については、連合遺族会と協議を行い検討する。
	細事業の課題・問題点	戦後70年が経過し、遺族の高齢化や減少が進んでいるが、戦争の悲惨さを後世に引き継ぐ必要がある。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同じ	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	追悼式は、平和祈念の式典であるため、実施方法やコスト等を見直しつつ継続する	改善案	年々遺族数が減少しているため、一般参列者を増やすために、広報の方法や手段について検討を行う。
----	---	---	------	---------------------------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	戦争の悲惨さを後世に伝えるためにも必要な事業であるが、参列者の減少傾向から将来は会場変更も含めた開催方法の見直しが必要である
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
戦没者追悼式の開催にあたり、連合遺族会と式典の在り方について協議した内容を平成28年度当初予算に反映させた。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	461014	事務事業名	社会福祉団体運営費等助成事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ11 地域福祉の推進	基本方向	公的な福祉サービスと住民相互で支え合う地域福祉の体制が融合するまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)地域福祉活動の推進			【実施なし】 -%	
	推進施策の展開	社会福祉協議会や地域福祉活動団体等と連携し、地域福祉の課題解決に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【 】 %	

事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市社会福祉協議会への助成	意図(どういう状態にしたい): 社協の活動を補助することにより、地区社協単位で市の全域において、福祉活動を推進することができる。 (社協補助割合 H27目標:30%)	事業の内容(手段)	周南市社会福祉協議会の運営を補助する。
--------------	------------------------------	---	-----------	---------------------

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	周南市社会福祉協議会への助成						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
【26年度】							直接事業費	千円	122,412	122,253	128,299	131,096	131,096	
							(予算額) うち一財	千円	122,412	122,253	128,299	131,096	131,096	
事業目標	目標名	—	計算式	補助対象となる職員の人数		単位	人	直接事業費	千円	120,123	122,253		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	120,123	122,253		社協職員の昇給等による人件費増		
	目標値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	733	740				
	実績値	26.0	26.0	27.0			人工数	人	0.10	0.10	0.20			
	達成度(%)	—	—	—			支出コスト	千円	決見) 120,856					

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	事業の分類					正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	①	社会福祉団体運営費等助成事業費 (ソフト事業)	社会福祉協議会への助成	地域福祉の推進を図るため、周南市社会福祉協議会の運営費の一部を助成する。	地域福祉の推進を図るため、周南市社会福祉協議会の運営費の一部を助成する。	周南市社会福祉協議会の運営費の一部補助 122,253千円	0.1	0.01	122,253	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 地域福祉サービスの充実確保のため、引き続き補助を必要とするものの、社会福祉協議会については第2次経営改善計画に基づいた経営改善が必要である。				B	改善案	社会福祉協議会に対しては第2次経営改善計画に基づいた経営改善、将来にわたって自主運営ができるよう指導していく必要がある。			
②											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	社会福祉協議会は、指定管理者制度の導入を契機に、職員給与にかかる関係を旧徳山市の方式から変更することとした。債務負担を設定していた退職手当精算補助金が平成22年度で終了した。	前年度までの指摘事項	地域福祉の重要な組織である社会福祉協議会の運営費助成は継続すべきであるが、経営改善計画に沿った経営改善が行われるよう引き続き指導等していく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	補助金の助成については、経営健全化計画に基づき進めているが、適正に経営改善が行われるよう継続して指導が必要である。
	細事業の課題・問題点	より充実した地域福祉を目指すため、社会福祉協議会は重要な組織としての位置付けがあるが、今後とも経営改善に向けた進行管理や指導が必要である。	事業全体の課題・問題点	地域福祉において重要な組織である社会福祉協議会の運営については、第2次経営改善計画に基づく経営改善が着実に進むように進行管理や指導を実施していく必要がある。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	地域福祉の重要な組織である社会福祉協議会については、第2次経営改善計画が策定され、計画に基づいたさらなる改善が見込まれる。	改善案	経営改善に向けた進行管理・指導を行う。
----	---	---	------	---	-----	---------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	地域福祉の重要な組織である社会福祉協議会の運営費助成は必要であるが、より一層経営改善されるよう継続して指導していく必要がある。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
社会福祉協議会の主体的な事務事業や組織体制等を検証し、平成28年度当初予算へ反映させた。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート				担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	461017	事務事業名	社会福祉団体等助成事業費	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ11 地域福祉の推進	基本方向	公的な福祉サービスと住民相互で支えあう地域福祉の体制が融合するまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	地域福祉活動の促進			【実施なし】 -%	
	推進施策の展開	社会福祉団体や地域福祉活動団体等と連携し、地域福祉の課題解決に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 社会援護団体	意図(どういう状態にしたい): 各社会福祉団体が掲げる目的を達成するための活動を補助できる。 (補助金割合 H27目標:50%)	事業の内容 (手段)	・連合遺族会、原爆被爆者の会、保護司会、更生保護女性会、山口県更生保護協会の活動を助成する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	連合遺族会、原爆被爆者の会、保護司会、更生保護女性会、山口県更生保護協会の活動に対し助成した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	直接事業費	千円	2,594	2,469	2,468		2,469	2,469					
事業目標	目標名	—	計算式	補助団体数	単位	件	(予算額) うち一財	千円	2,474	2,349	2,348	2,349	2,349	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,594	2,469	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	2,474	2,349				
	実績値	7.0	7.0	7.0			正職員人件費	千円	733	370				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.10	0.05	0.10			
							支出コスト	千円	決見) 3,327					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	山口県更生保護協会負担金の交付 (経常的事務事業)	山口県更生保護協会	更生保護に関する事業の充実発展は、安心安全なまちづくりに寄与する。	団体の活動の内容が向上するように活動費を補助	保護司会活動の目標達成のための活動費一部補助	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価										
		課題		—		A	改善案	—						
②	遺族会活動費補助金の交付 (経常的事務事業)	周南市連合遺族会	遺族会との連携により、地域福祉の推進を図る。	団体の活動の内容が向上するように活動費を補助	遺族会活動の目標達成のための活動費一部補助、戦没者追悼式への協力	0.01	0	1,710	否	可				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価											
	課題		適切な補助となるよう、事業内容など注視していく		B	改善案	適切な補助となるよう、事業内容など注視していく							

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③ 原爆被爆者の会活動費補助金の交付 (経常的事務事業)	周南市被爆者の会	原爆被爆者の会との連携により、地域福祉の推進を図る。	団体の活動の内容が向上するように活動費を補助	被爆者の会活動の目標達成のための活動費一部補助	0.01	0	244	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 適切な補助となるよう、事業内容など注視していく			細事業評価						
					B	改善案	適切な補助となるよう、事業内容など注視していく				
	④ 保護司会活動費補助金の交付 (経常的事務事業)	周南保護区保護司会	保護司会との連携により、地域福祉の推進を図る。	団体の活動の内容が向上するように活動費を補助	保護司会活動の目標達成のための活動費一部補助	0.01	0	290	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 適切な補助となるよう、事業内容など注視していく			細事業評価						
					B	改善案	適切な補助となるよう、事業内容など注視していく				
⑤ 更生保護女性会活動費補助金の交付	更生保護女性会(鹿野地区、熊毛地区、徳山地区)	更生保護女性会との連携により、地域福祉の推進を図る。	団体の活動の内容が向上するように活動費を補助	更生保護女性会活動の目標達成のための活動費一部補助	0.01	0	90	否	可		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 適切な補助となるよう、事業内容など注視していく			細事業評価							
				B	改善案	適切な補助となるよう、事業内容など注視していく					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	活動の趣旨は理解されつつも、会員数が年々減少しつつある	前年度までの指摘事項	行政では対応できない活動をしている団体なので、内容を精査しながら補助したい。	指摘事項に対する改善状況	申請時及び精算時に事業内容、対象経費を精査を行い、補助率50%以下にする。
	細事業の課題・問題点	年々会員数や寄付団体が減少しており、補助金以外の収入が減少している。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同じ	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	活動については公益性が高く、行政だけでは対応できない活動のため助成を行うが、適正な補助となるよう精査する。	改善案	細事業の課題・問題点と同じ。活動内容を踏まえて補助額を決定する

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 団体の活動内容や補助金対象経費を精査し、適正な補助事業の執行に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
団体の主体的な事務事業や組織体制等を検証し、平成28年度当初予算へ反映させた。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	461026	事務事業名	社会を明るくする運動経費	担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計				

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ11 地域福祉の推進	基本方向	公的な福祉サービスと住人相互で支えあう地域福祉の体制が融合するまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)地域福祉活動の促進			【実施なし】 -%	
	推進施策の展開	社会福祉協議会や地域福祉団体等と連携し、地域福祉の課題解決に努めます。			25年度市民評価の満足度	
対象(誰を・何を): 全市民		意図(どういう状態にしたい): 保護司の活動に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くきっかけづくりとすることができる。		事業の内容(手段)	法務省の主旨のもとに、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的に、全国的な運動を展開する。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	<ul style="list-style-type: none"> 啓発街頭パレード(啓発グッズの配布等) 参加者約90人 少年の主張コンクール周南大会 参加者約300人 徳山、新南陽、熊毛、鹿野の各地区及び警察署による啓発活動 参加者13回 1003人 				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
	直接事業費	千円	304	314		312	312	312								
事業目標	目標名	—	計算式	啓発活動参加人数	単位	人	対27年度増減理由		対28年度増減理由							
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度										
	目標値	—	—	—	—	—										
	実績値	3,031.0	1,293.0	1,003.0												
	達成度(%)	—	—	—												
	直接事業費(決算額)	うち一財	千円	297	305											
正職員人件費	千円	297	305													
人工数	人	0.05	0.04	0.13												
支出コスト	千円	決見) 663														
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否				
	①	社会を明るくする運動経費 (ソフト事業)	周南市民	犯罪の防止と罪を犯した人の更生について理解を深め、犯罪のない地域社会を築く。	7月を強化月間として、重点的に啓発活動を行う。	啓発街頭パレード、少年の主張コンクール周南大会、各地区・警察署による啓発活動	正職員	0.04	臨時等	0	直接事業費	305	委託	否	臨時嘱託	可
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 広く市民に啓発活動の効果を高める必要がある			B	改善案	啓発活動の内容について見直しを図る。								
	②															
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				改善案										

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価		
④											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	法務省の主唱の事業であり、毎年7月の強化月間に関係団体の協力を得ながら街頭啓発活動等を行っている。	前年度までの指摘事項	法務省主唱の事業で全国的に取り組んでいる運動である。また、7月を強化月間として周南地区においても「啓発街頭パレード」や「少年の主張コンクール」、「各地区及び警察署による啓発活動」を展開しており、今後も継続的に事業を進めていく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	保護司会等の関係団体と連絡を密に取りながら事業を進めていく。
	細事業の課題・問題点	活動は、行っているものの、活動内容が十分に理解されていない。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同じ	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	犯罪のない地域社会を目指すために、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めるため、必要な事業と考えている。	改善案	啓発活動の内容については、保護司会等の関係団体と連携を密に取りながら決定する。また、市広報に掲載する内容については、多くの市民に理解していただけるように見直しを図る。
----	---	---	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	法務省主唱の事業で全国的に取り組んでいるところであるが、さらに周知が図られるよう、今後も継続的に事業を進めていく必要がある。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
前年度までの指摘事項を踏まえ、活動内容や事業効果を検証し、平成28年度当初予算に反映させた。

備考

備考

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	少子高齢化が急速に進行していることから、地域ぐるみで子育てを支えたり、地域社会の中で高齢者の自立を支えるという仕組み作りが必要となっている。 地域福祉計画策定状況 ・平成18年3月策定(期間H18～H22) ・平成23年3月策定(期間H23～H27)	前年度までの指摘事項	地域福祉計画を策定し、その実施に努めることは市の責務と考えている。 今後は時代のニーズに合った計画とするため、計画の進捗、現状の把握を行い継続していく。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	計画の進捗状況の把握及び検証が必要 検証により現状に合った計画の見直しが必要	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同じ		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	保健・福祉分野のマスタープランであり、この計画に基づいて各事業を進めている。	改善案	評価委員会において進捗状況の把握及び検証を十分にを行い、現状に合った計画の見直しを行う。
----	---	---	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	地域福祉計画の策定・実施に努めることは市の責務であるが、より時代のニーズに合った計画とするため、計画の進捗確認、現状把握を行い継続していく。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
地域福祉計画策定事業の完了による	

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	461032	事務事業名	徳山社会福祉センター管理運営事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ11 地域福祉の推進	基本方向	公的な福祉サービスと住人相互で支えあう地域福祉の体制が融合するまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)地域福祉活動の促進			【実施なし】 -%	
	推進施策の展開	社会福祉協議会や地域福祉団体等と連携し、地域福祉の課題解決に努めます。市が提供する各種サービスの質を高めることにより、市役所業務に対する満足度の向上を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民(入浴利用については65歳以上の者、老人クラブ会員、身体障害者)	意図(どういう状態にしたい): 高齢者、障害者の憩いの場、ボランティア活動の拠点、地域福祉のコミュニティの場として、多くの市民が利用する場を提供する。 (月平均利用者数 H27目標:8,000人)	事業の内容(手段)	市民の福祉増進及び福祉意識の高揚を目的に、高齢者活動を図るため、貸館業務、高齢者及び障害者へ入浴設備を提供	【 】 %	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	年間共用日数 293日 年間延べ利用者数 76,596人 1日当たりの利用者数 261人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	直接事業費	千円	33,278	31,859	30,418		30,715	30,715					
事業目標	目標名	延べ利用者数	計算式	延べ利用者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	33,254	31,835	30,394	30,691	30,691
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	32,860	31,706		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	(決算額)	うち一財	千円	32,836	31,682			
	実績値	90,204	90,649	76,596			正職員人件費	千円	513	518				
	達成度(%)	100.2%	100.7%	85.1%			人工数	人	0.07	0.07	0.09			
							支出コスト	千円	決見) 32,859					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	徳山社会福祉センター管理運営事業費(施設管理運営事業)	制限なし(入浴利用は65歳以上、老人クラブ会員、身体障害者)	徳山社会福祉センター施設の管理運営を行う。	地域における福祉活動の拠点として、市民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図る。	社会福祉センターの管理、貸館業務、高齢者及び障害者への入浴設備の提供	0.07	0.01	31,706	可	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の老朽化対策及び経費の削減が必要である。					B	改善案	新耐震基準で建築された建物だが、築後32年を経過していることから、施設の老朽化により修繕要望箇所が多く、施設存続を検証しながら、計画的な改修等を行う必要がある。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	細事業の課題						改善案					
	④											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	昭和57年5月開館 平成18年度から指定管理者制度の施設となる。 福祉施設の充実、各種福祉団体・ボランティア団体等の育成・強化を進めている。	前年度までの指摘事項	福祉活動の拠点として、その果たす役割は非常に大きい。 課題や問題点を改善しながら、今後も継続的な事業実施が必要と考える。	指摘事項に対する改善状況	必要な修繕を行いながら、効率的な事業運営を進めている。
	細事業の課題・問題点	施設の老朽化対策及び経費の削減 ・新耐震基準で建築された建物だが、築後32年を経過していることから、耐震補強も視野に入れた改修計画の作成が必要 ・計画的な施設の維持管理 ・指定管理者による効率的な運営方法の検討	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	施設利用状況は約15%の減少となり目標値を下回った。 今後とも施設の老朽化対策や運営方法について検討を行い、当面継続運営したいと考えている。	改善案	施設の老朽化対策として改修計画を作成する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 今後の施設維持の検討、効率的な運営方法および老朽化に対する計画的な修繕執行に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
指定管理計画に基づき、内部コストの削減や利用料収入の増加等に取り組み、市民サービスの向上と施設の効率的な運営を図る。

備考

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	新南陽公民館解体に伴い、利用者が激増している。平成7年開設 平成18年度から指定管理者制度の施設となる。福祉施設の充実、各種福祉団体・ボランティア団体等の育成・強化を進めている。近年、施設の老朽化が進み修繕料が増大している。	前年度までの指摘事項	福祉活動の拠点として、その果たす役割は非常に大きい。課題や問題点を改善しながら、今後も継続的な事業実施が必要と考える。	指摘事項に対する改善状況	必要な修繕を行いながら、効率的な事業運営を進め、施設の機能統合等を検討する。
	細事業の課題・問題点	施設の老朽化対策及び経費の削減 ・新耐震基準で建築された建物だが、築後19年を経過していることから、大規模改修による長寿命化を視野に入れた改修計画の作成が必要 ・計画的な施設の維持管理 ・指定管理者による効率的な運営方法の検討		事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	利用状況は良好で目標値以上を達成している。今後とも施設の老朽化対策や運営方法について検討を行い、当面継続運営したいと考えている。	改善案	必要性、有効性を検証しながら、計画的な改修等を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 今後の施設維持の検討、効率的な運営方法および老朽化に対する計画的な修繕執行に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
指定管理計画に基づき、内部コストの削減や利用料収入の増加等に取り組み、市民サービスの向上と施設の効率的な運営を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	461038	事務事業名	三世代交流センター管理運営事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ11 地域福祉の推進	基本方向	公的な福祉サービスと住人相互で支えあう地域福祉の体制が融合するまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)地域福祉活動の促進			【実施なし】 -%	
	推進施策の展開	社会福祉協議会や地域福祉団体等と連携し、地域福祉の課題解決に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民	意図(どういう状態にしたい): 三世代交流の拠点として、高齢者の介護予防を推進するとともに、子育て親子の交流の場を提供する。(一日平均利用者数 H27目標:50人)	事業の内容(手段)	児童の健全育成と高齢者の生きがいづくり活動、三世代間の交流を図るための場を提供	【 】 %	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	年間共用日数293日 年間延べ利用者数17,146人 1日当たりの利用者数58.5人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	直接事業費	千円	6,662	6,733	6,689		6,671	6,671					
事業目標	目標名	延べ利用者数	計算式	延べ利用者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	6,662	6,733	6,689	6,671	6,671
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	6,766	6,733		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	14,000	14,000	14,000	15,000	15,000	(決算額)	うち一財	千円	6,766	6,733			
	実績値	13,587	14,558	16,135			正職員人件費	千円	513	518				
	達成度(%)	110.5%	98.9%				人工数	人	0.07	0.07	0.09			
							支出コスト	千円	決見) 7,279					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否				
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	三世代交流センター管理運営事業費(施設管理運営事業)	制限なし	三世代交流センター施設の管理運営を行う。	児童の健全育成と高齢者の生きがいづくりのための、地域における福祉及びコミュニティ活動の拠点とする。	三世代間の交流、児童の健全な育成、高齢者の生きがい活動の推進の場の提供	0.07	0.01	6.733	可	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 施設の老朽化対策が必要である。					B	改善案	新耐震基準で建築された建物だが、築後31年を経過していることから、大規模改修による長寿命化を視野に入れた改修計画を作成し、当面計画的な施設の維持管理に努める。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成13年8月開館 平成21年度から指定管理者制度の施設となる。 地域福祉における福祉及びコミュニティ活動の拠点として運営している。 平成24年11月からは学び交流プラザ建設に伴い2年間は施設の一部を共用している。	前年度までの指摘事項	三世代間の交流の場として十分に役割を果たしているが、施設の老朽化状況等を考慮すると、近隣施設との統廃合を検討する時期に来ていると考える。	指摘事項に対する改善状況	学び交流プラザ建設までの2年間は、利用者が増加する見込みである。所管としては、その後を見据え他施設との機能統合等について検討を始める。
	細事業の課題・問題点	施設の老朽化対策 ・新耐震基準で建築された建物だが、築後31年を経過していることから、大規模改修による長寿命化を視野に入れた改修計画の作成が必要 ・計画的な施設の維持管理 ・近隣福祉施設との統廃合の検討が必要	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	地域の福祉及びコミュニティ活動の拠点として定着しているが、施設老朽化等から、近隣の福祉施設との統廃合も含めた検討が必要	改善案	必要性、有用性を検証するとともに、計画的な改修を行いながら、今後、近隣福祉施設との統廃合も含めて検討する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 施設の老朽化状況等から、計画的な修繕対応を必要とするが、今後の施設維持について検討する必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成27年度当初予算等での改善結果(平成27年度当初予算への反映など)
指定管理計画に基づき、内部コストの削減や利用料収入の増加等に取り組み、市民サービスの向上と施設の効率的な運営を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	461039	事務事業名	社会福祉施設維持管理事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ11 地域福祉の推進	基本方向	公的な福祉サービスと住人相互で支えあう地域福祉の体制が融合するまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)地域福祉活動の促進			【実施なし】	-%
	推進施策の展開	社会福祉協議会や地域福祉団体等と連携し、地域福祉の課題解決に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【 】	%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 社会福祉施設(徳山社会福祉センター、新南陽総合福祉センター、三世代交流センター)	意図(どういう状態にしたい): 市内社会福祉施設の利用者の利便性や安全性を確保する。	事業の内容 (手段)	社会福祉施設の緊急を要する修繕に対して速やかに対応することで、利用者の利便性や安全性を確保します。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・徳山社会福祉センター(バス修繕) ・新南陽総合福祉センター(空調、自動給水ポンプ、温度制御盤修繕) ・三世代交流センター(空調設備修繕)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	(予算額)	うち一財	千円	1,100	1,050	1,000		1,000	1,000					
事業目標	目標名	—	計算式	—	単位	-	直接事業費	千円	1,947	2,515		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	1,947	2,515			
	目標値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	513	518				
	実績値	—	—	—	—	—	人工数	人	0.07	0.07	0.08			
	達成度(%)	—	—	—	—	—	支出コスト	千円	決見) 2,460					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	社会福祉施設維持管理事業費 (施設管理運営事業)	社会福祉施設(徳山社会福祉センター、新南陽総合福祉センター、三世代交流センター)	利用者の利便性や安全性を確保する。	社会福祉施設の修繕を行い安心・安全を確保する。	徳山社会福祉センター、新南陽総合福祉センター、三世代交流センターの修繕	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の老朽化が著しいため、突発的な大規模改修が増加すると思われる。それに伴い修繕料も増えることが予測される。				B	改善案	必要性、有効性を検証しながら、計画的な改修等を行う。						
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他													

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	築後30年以上経過した施設であり、老朽化が著しい。	前年度までの指摘事項	施設の維持管理については、安心・安全の観点から所管が適切に行う必要がある。	指摘事項に対する改善状況	
		細事業の課題・問題点	施設の老朽化に伴う大規模修繕の増加と、それに伴った修繕料の増大	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同じ	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	安心・安全の観点から施設の維持管理は必要不可欠である。	改善案	必要性、有効性を検証しながら、計画的な改修等を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	施設の維持管理については、安心・安全の観点から所管が適切に対応していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
利用者の安全確保に留意し、建物の老朽化対策と適正な維持管理に要する経費を予算として計上した。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	471008	事務事業名	敬老の日記念行事開催事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康長寿を目的に、中高年からの社会参加を促進します。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 敬老会:周南市内に住所を有し、当概年中に75歳以上となる者 記念品:年中に88歳、99歳になる者		意図(どういう状態にしたい): 市民の高齢者福祉への関心と理解を深めるとともに、高齢者の方々の生活への意欲向上を図る。(H27見込み:対象者22,180人)		事業の内容 (手段)	・高齢者自らの生活向上に努める意欲を高めるとともに、老人福祉思想の啓発や長寿をお祝いするために記念行事を開催 ・対象の方へ長寿のお祝いの記念メッセージを授与 ・元気な百歳の方への市長の表敬訪問

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	【敬老会の開催状況】(会場の都合により、未開催地区1箇所) 徳山地区24会場、新南陽地区4会場、熊毛地区5地区、鹿野地区1地区 出席者数5,378人 【記念品配布状況】 対象者818人に対して、803人に配布						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
							直接事業費	千円	25,674	26,890	27,334	28,102	28,334				
事業目標	目標名	敬老会出席率		計算式	出席人数/対象人数		単位	%	事業費								
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度											
	目標値	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0											
	実績値	21.4	25.8	26.1													
	達成度(%)	67.2%	80.6%	81.6%													
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否					
	①	敬老の日記念行事開催事業費 (ソフト事業)	敬老会:市内に住所を有する 年中に75歳以上になる者 記念品:年中に88歳・99歳になる者	長寿をお祝いする場を設け、 対象高齢者自らの生活向上 意欲を高め、市民への老人 福祉思想を啓発する	高齢者を敬愛し、長寿をお祝いする。 市民の高齢者福祉への関心と 理解を深める機会とする	市内34箇所で開催 参加者5,378人 記念品配布818人		正職員	0.36	臨時等	0.08	直接事業費	26,175	委託	可	臨時嘱託	可
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価										
	高齢者の交流の場としても貢献度は高いものであるが、近年の出席率は低下傾向にあるため、対象者の参加意欲が高まるような内容の検討を必要とする。 記念品の配布については、長寿祝金と併せて、敬老のお祝いとして継続することがよいか等、お祝い事業全般として整理・検討する必要がある。						B	改善案	敬老のお祝い事業として、他の事業との整合による充実、開催内容の見直し等、より有効な事業推進へ向けた検討が必要である。								
②																	
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価											
細事業の課題																	
						改善案											

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	敬老記念行事では、出席率が対象者の25%程度の状況で推移している。娯楽の多様化もあるが、開催会場に参加しづらい環境となってきたり、地区もあり、対象者の増加に対し参加者が減少していることもある。	前年度までの指摘事項	高齢者を敬う事業として継続する必要があるが、より多くの対象者に参加いただき、充実した内容となるよう改善を図るとともに、敬老のお祝い事業として、敬老会事業・長寿祝金事業を併せて総合的に検討をしていく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	周南市社会福祉協議会を通して、地区社協が実施する敬老会が地域の特性を生かした内容となるよう、引き続き実施していく。
	細事業の課題・問題点	敬老記念行事として継続することは必要であり、地域に根差した敬老会となるよう、各地域ごとの開催としている。 多くの参加者が出席できるような環境をつくる必要があることから、他の事業とも調整を図り、敬老のお祝い事業として、より有効に事業推進ができるよう、内容見直しを含めた検討が必要である。	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	敬老のお祝い事業として、より充実したものとし、より多くの方に参加していただけるように改善を図るとともに、敬老会事業・長寿祝金事業を併せて総合的に検討をしていく必要がある。	改善案	周南市社会福祉協議会を通して、地区社協が実施する敬老会が地域の特性を生かした内容となるよう改善を図りながら、引き続き実施するとともに敬老のお祝い事業として総合的に検討していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B より多くの対象者に参加いただけるよう、内容改善を図るとともに、敬老会事業・長寿祝金事業を併せて、高齢者を敬う事業として総合的に検討をしていく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500204
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
コストの見直しにより、事務費を削減したが、対象者の増加が見込まれる事業委託料については増額となった。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	471014	事務事業名	はり・きゅう等施術費助成事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)介護予防の推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、介護予防事業を推進します。 市が提供する各種サービスの質を高めることにより、市役所業務に対する満足度の向上を図ります。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内に住所を有する国民健康保険に加入していない満70歳以上の者、長寿医療制度被保険者に対し助成。	意図(どういう状態にしたい): 高齢者への健康増進を図り、介護予防を図る。 (H27助成見込:15,000件)	事業の内容 (手段)	国民健康保険被保険者以外の医療保険加入者で70歳以上の高齢者と後期高齢者医療保険被保険者への保険適用外のはり・きゅう・あん摩マッサージの施術費の助成。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	【延利用件数】12,276件【受給資格発行者】73名、後期高齢者医療保険利用者1,286名						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	15,401	15,402	14,490	13,146	13,146
事業目標	目標名	延べ利用件数	計算式	—		単位	件	(予算額) うち一財	千円	11,401	11,402	10,490	9,146	9,146
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	13,037	11,401		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	16,000	16,000	16,000	15,000	15,000	(決算額) うち一財	千円	13,037	7,401		利用実績の推移を基に積算し、減額した。		
	実績値	14,192	13,825	12,276			正職員人件費	千円	1,538	1,109				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.21	0.15	0.11			
							支出コスト	千円	決) 14,575	決見) 12,510				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	① はり・きゅう等施術費助成事業費 (ソフト事業)		市内に住所を有する国民健康保険に加入していない満70歳以上の者、長寿医療制度被保険者に対し助成。	保険適用外のはり・きゅう・あん摩マッサージの施術費の助成。	高齢者への健康増進を図り、介護予防が図られる。	【延利用件数】12,276件【受給資格発行者】73名、後期高齢者医療保険利用者1,286名	正職員 0.15 臨時等 0.02	直接事業費 11,401	委託 可	臨時嘱託 可				
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 高齢化に伴い、事業費は横ばいであるが将来的には増加することが予測される。限られた財源の中で、どのように事業を進めるか検討が必要				改善案	今後の利用状況を勘案しながら、必要に応じて事業内容を検討していく。						
	②													
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他				細事業評価								
						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成20年度からの長寿医療制度開始に伴い、年齢到達により国民健康保険から後期高齢者医療保険へ移行する人へのフォローとして対象者が拡大。高齢者人口の増大に伴い対象者が大幅に増加している。助成額は、H24年度から一術の場合760円→800円、併術の場合920円→1,000円とした。	前年度までの指摘事項	助成の経緯や目的、事業の成果など整理し、事業内容についての見直しが必要	指摘事項に対する改善状況	市民からの強い要望により、あん摩マッサージを追加しているが、今後は、利用件数の推移を見ながら内容について検討が必要。
	細事業の課題・問題点	高齢化に伴い、事業費は横ばいであるが将来的には増加することが予測される。限られた財源の中で、どのように事業を進めるか検討が必要	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同じ		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	介護予防に貢献しているものの、限られた財源の中で、どのように事業を進めるか検討が必要	改善案	利用件数の推移を見ながら内容について検討が必要。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 事業の成果、助成の経緯・目的など確認整理し、限られた財源での事業推進において事業内容の見直しを必要とする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
利用件数の推移を勘案して、助成費を減額した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	471023	事務事業名	老人日常生活用具支給事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)介護予防の推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、介護予防事業を推進します。 市が提供する各種サービスの質を高めることにより、市役所業務に対する満足度の向上を図ります。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 在宅の65歳以上の一人暮らしの高齢者	意図(どういう状態にしたい): 高齢者の在宅生活を円滑し、補助を行い在宅生活を継続してもらうことを目指し、介護保険への移行を防ぐ。	事業の内容 (手段)	在宅の65歳以上のひとり暮らし高齢者等に対し、日常生活の便宜を図るために日常生活用具を給付。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	【給付実績】 18件 (内訳) 歩行支援用具1件、自動消火器3件(うち1件は公費負担なし)、火災警報器2件(うち1件は公費負担なし)、電磁調理器2件、入浴補助用具3件、シルバーカー7件					項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
							直接事業費	千円	630	574	526	429	429
事業目標	目標名	延べ利用件数	計算式	—		単位	件						
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度							
	目標値	30	30	30	30	30							
	実績値	13	22	18									
	達成度(%)	—	—	—									
	事業費							(予算額) うち一財	千円	630	574	526	429
							直接事業費	千円	297	266		対27年度増減理由	対28年度増減理由
							(決算額) うち一財	千円	297	266			
							正職員人件費	千円	733	740			
							人工数	人	0.10	0.10	0.06		
							支出コスト	千円	決) 1,030	決見) 1,006			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否				
	① 老人日常生活用具支給事業費 (ソフト事業)		在宅の65歳以上のひとり暮らし高齢者	在宅の65歳以上の高齢者等に対し、日常生活の便宜を図るために日常生活用具を給付	在宅の65歳以上の高齢者等に対し、日常生活の便宜を図るために日常生活用具を給付	【給付実績】歩行支援用具1件、自動消火器2件、火災警報器1件、電磁調理器2件、入浴補助用具3件、シルバーカー7件	正職員 0.1 臨時等 0	直接事業費 266	委託 可	臨時嘱託 否			
	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						細事業評価						
	細事業の課題		高齢者が進み、申請件数の増加が懸念されるが、適切な事業となるよう事業内容や負担額の見直しが必要				B	改善案	現在の対象品目と扶助費の上限額の見直しを検討していく。				
	②												
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他				細事業評価							
							改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	現在の対象品目と扶助費の上限額の見直しが必要	指摘事項に対する改善状況
	平成18年から単市事業として開始。			給付種目や給付基準の適正化について検討していく。
	細事業の課題・問題点	高齢化が進み、申請件数の増加が懸念されるが、市町村が実施している地域支援事業に再編されることから、介護保険制度の改正に合わせた高齢者施策の見直しを行い、より適切な事業となるよう事業内容や負担額の見直しが必要	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案
			現在の対象品目と扶助費の上限額の見直しが必要である。	適切な支給となるよう、給付種目や給付基準の適正化について検討していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	現在の対象品目と扶助費の上限額の見直しを継続して検討する必要がある。
----	---	------------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
利用件数の推移を勘案して減額した。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	471038	事務事業名	軽度生活援助事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)介護予防の推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、介護予防事業を推進します。 市が提供する各種サービスの質を高めることにより、市役所業務に対する満足度の向上を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 日常生活上の援助が必要であり、かつ、介護保険制度において要支援又は要介護認定を受けた者以外の被保険者であり、市内に住所を有する65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象	意図(どういう状態にしたい): 高齢者が在宅生活を継続できるよう援助し、介護保険への移行を防ぐ。(1号被保険者介護保険認定率H27目標:15.0%)	事業の内容 (手段)	介護認定を受けていない65歳以上のひとり暮らし高齢者に対し、軽易な日常生活上の必要な援助を実施。	【高齢者福祉の充実】 41.70%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	【延利用時間数】2,399時間						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
								直接事業費	千円	21,904	18,218	5,810	0	0			
事業目標	目標名	—		計算式	延べ利用件数		単位	件	(予算額) うち一財	千円	21,904	18,218	5,810	0	0		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			直接事業費	千円	17,127	13,288	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	—	—	—	—	—			(決算額) うち一財	千円	17,127	13,288	介護保険制度改正に伴う事業再編により、介護保険特別会計に組み替え				
	実績値	5,189	3,285	2,399					正職員人件費	千円	1,612	1,479					
	達成度(%)	—	—	—					人工数	人	0.22	0.20	0.10				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H25実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否	
	① 軽度生活援助事業費 (ソフト事業)		要介護認定を受けていない65歳以上のひとり暮らし高齢者		介護認定を受けていない独居または高齢者のみの世帯等に対し、軽易な日常生活上の必要な援助を		介護認定を受けていない独居または高齢者のみの世帯等に対し、軽易な日常生活上の必要な援助を実施		【延利用時間数】2,399時間			正職員	0.2	0.02	13,288	可	否
	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他											細事業評価		介護保険制度と整合性を図るため、25年度から見直しを行った。			
	細事業の課題		介護保険制度と整合性を図る。									B	改善案				
細事業の課題	②																
	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他											細事業評価					
細事業の課題											改善案						

事業を構成する細事業【25年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	高齢者の増加に伴い高齢化が進み、介護保険発足時から比較すると介護保険料の増額および介護保険の事業内容の変更がされている。今後も、要支援についても、市町村が実施している地域支援事業に再編されることから、介護保険制度の改正に合わせた高齢者施策の見直しが必要。25年度から、利用内容、利用料金を見直した。	前年度までの指摘事項	介護保険との整合性を図るよう、見直しを進めながらも、介護保険制度の改正に合わせた高齢者施策の見直しを検討すること。	指摘事項に対する改善状況	介護保険制度と整合性を図り、事業内容の見直しを行い、あわせて利用料の改定を行った。
	細事業の課題・問題点	介護保険制度と整合性を図るため、利用料金の継続的に見直しを行う必要があるが、今後、要支援1、2については、市町村が実施している地域支援事業に再編されることから、介護保険制度の改正に合わせた高齢者施策の見直しが必要。	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	介護保険制度と整合性を図るため、引き続き利用料金の見直しを行うが、今後、介護保険制度の改正に合わせた高齢者施策の見直しが必要。	改善案	第7次老人福祉計画・第6期介護保険計画の中で、介護予防事業全般の検討を行っていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 介護保険制度の改正に合わせ、整合性を図るよう高齢者施策の見直しを検討すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
介護保険制度改正に伴う事業再編により、介護保険特別会計に組み替え。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	471047	事務事業名	生きがい活動支援通所事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)介護予防の推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、介護予防事業を推進します。市が提供する各種サービスの質を高めることにより、市役所業務に対する満足度の向上を図ります。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): おおむね65歳以上の介護保険制度において要介護認定又は要支援認定を受けた者以外の者	意図(どういう状態にしたい): 高齢者の閉じこもりを防止し、社会的孤立感を解消し、介護保険への移行を防ぐ。施設の円滑な維持管理(1号被保険者介護保険認定率H27目標:15.0%)	事業の内容(手段)	・介護認定を受けていない閉じこもりがちな高齢者に対し、通所による各種サービスを実施 ・須金、大津島デイサービスセンターの指定管理		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	【延利用者数】13,576人 【利用者】433人(年度末) 須金、大津島デイサービスセンターを指定管理者(周南市社会福祉事業団)により管理運営						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
							直接事業費	千円	71,154	65,872	74,241	0	0
事業目標	目標名	—		計算式	延べ利用者数		単位	人		事業費			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度							
	目標値	—		—		—							
	実績値	17,833		14,832		13,576							
	達成度(%)	—		—		—							
							(予算額) うち一財	千円	71,154	65,872	74,241	0	0
						直接事業費	千円	60,307	58,725			対26年度増減理由	対27年度増減理由
						(決算額) うち一財	千円	60,301	58,474	介護保険制度改正に伴う事業再編により、介護保険特別会計に組み替え			
						正職員人件費	千円	1,905	1,701				
						人工数	人	0.26	0.23	0.20			
						支出コスト	千円	決) 62,212	決見) 60,426				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否		
	①		生きがい活動支援通所事業費(ソフト事業)	要介護認定を受けていない65歳以上高齢者	高齢者等の社会的孤立感を解消するとともに、自立した生活を可能にし、要介護状態への進行を予防する。	介護認定を受けていない閉じこもりがちな高齢者に対し、通所による各種サービスを実施	延べ利用者数13,576人、年度末利用者数433人	正職員	0.15	0.02	26,935	可 否	
	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他						細事業評価						
	細事業の課題		介護保険制度と整合性を図る				B	改善案	介護保険制度と整合性を図るため、25年度から見直しを実施。				
	②		生きがい活動支援通所事業費(施設管理運営事業)	大津島、須金老人デイサービスセンター	地域福祉サービスの提供を行う。	大津島、須金デイサービスセンターの指定管理、管理状況把握、施設の円滑な維持管理	指定管理者(周南市社会福祉事業団)による管理運営を行った	正職員	0.08	0	31,790		
■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						細事業評価							
細事業の課題		・28年度で指定管理期間が終了することから29年度以降の既存施設でのデイサービス運営の方針を検討する必要がある。				B	改善案	・平成29年度以降の既存施設でのデイサービス運営の方針を検討する必要がある。					

事業を構成する細事業【25年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	高齢者の増加に伴い、介護保険事業の内容が変更されている。今後、要支援者対象の事業が市町村実施の地域支援事業に再編されることから、施策の見直しが必要。平成18年度から利用回数の上限を設定。25年度に利用料の見直しを実施。	前年度までの指摘事項	介護保険との整合性を図るよう、見直しを進めながら、介護保険制度の改正に合わせた高齢者施策の見直しを検討すること。	指摘事項に対する改善状況	利用料金について介護保険制度との整合性を図るため段階的に見直しを行った。
	細事業の課題・問題点	介護保険制度と整合性を図るため、利用料金を継続的に見直しを行う必要があるが、今後、要支援1、2については、市町村が実施している地域支援事業に再編されることから、介護保険制度の改正に合わせた高齢者施策の見直しが必要。また、大津島、須金のデイサービスセンターについても、28年度で指定管理期間が終了することから、今後、施設管理をどのような形で行うか検討が必要。	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	今後、介護保険制度の改正に合わせた高齢者施策の見直しが必要。	改善案	第7次老人福祉計画・第6期介護保険計画の中で、介護予防事業全般の見直しを行う。須金、大津島デイサービスセンターについては指定管理内容の見直しを図っていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 介護保険制度の改正に合わせ、整合性を図るよう高齢者施策の見直しを検討すること。各デイサービスセンターについては今後の施設管理の方向性を検討すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
介護保険制度改正に伴う事業再編により、介護保険特別会計に組み替え

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	471073	事務事業名	老人保健福祉計画・介護保険事業計画	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	利用者が介護サービスの内容について、主体的に事業者の選択ができるよう、情報提供を行うとともに、様々な相談、苦情に対応できる体制づくりに努めます。介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 高齢者市民	意図(どういう状態にしたい): 地域の将来展望を踏まえた周南市高齢者プランを策定することで、高齢者保健福祉施策を総合的、計画的に推進。	事業の内容 (手段)	周南市高齢者プラン「老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定を目的に、市民・学識経験者・関係者による、高齢者保健福祉推進会議を開催する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	高齢者保健福祉推進会議を開催し、次期計画策定のため意見聴取を行った。 会議の開催 4回(平成26年5月、10月、12月、平成27年2月)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
								直接事業費	千円	143	4,263	0	0	4,263			
事業目標	目標名	会議開催回数	計算式	会議開催回数	単位	回	(予算額)	うち一財	千円	143	4,263	0	0	4,263			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	71	3,688		対27年度増減理由	対28年度増減理由				
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額)	うち一財	千円	71	3,688						
	実績値	1.0	1.0	4.0			正職員人件費	千円	733	1,183							
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.10	0.16	0.11	-	-				
							支出コスト	千円	決) 804	決見) 3,688							
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否					
	① 介護保険事業計画・老人福祉計画策定事業 (ソフト事業)		周南市が行う事務事業	周南市高齢者プラン「老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定	適切な介護保険運営を目指す。	介護保険計画に沿った各種サービスの実施。		正職員	0.16	臨時等	0	直接事業費	3,688	委託	可	臨時嘱託	否
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価										
	細事業の課題								A	改善案							
	②																
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価									
									改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ●平成24年3月：第6次老人保健福祉計画・第5期介護保険事業計画を策定（H24～26） ●平成26年6月：日常生活圏域ニーズ調査等の実施 ●平成26年3月：第7次老人保健福祉計画・第6期介護保険事業計画を策定（H27～29） 	前年度までの指摘事項	事業運営に必要不可欠なものであり、市民の声を十分に反映した計画を策定されたい。	指摘事項に対する改善状況	計画の進行管理を確実にしながら、高齢者のニーズ把握調査等を実施し、次期計画策定と施策を推進する。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	事業運営に必要不可欠なものであり、現計画の進捗状況、実績等を検証した上で、高齢者ニーズの十分な把握と分析を行い、現計画の進行管理及び次期計画の策定と事業を推進する。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A
	所管課評価のとおり、事業運営に必要不可欠なものであり、市民の声を十分に反映した計画を策定されたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
計画策定年度以外については予算計上しない。次回は平成29年度。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	472005	事務事業名	福川シニア交流会館管理事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康づくりや教養の向上、レクリエーション等、活動の機会を創出し、高齢者の「仲間づくり」や「生きがいづくり」を推進します。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民	意図(どういう状態にしたい): 高齢者の生きがいづくり活動の活性化、および関連団体の活動向上を図る。(H27目標:施設利用人数1,800人)	事業の内容 (手段)	高齢者の生きがいづくり活動などのため、地域の福祉活動及びコミュニティ活動の拠点としての場を提供		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	【年間利用者数】1,891人 【年間利用日数】189日 【年間利用可能貸室】3部屋×340日						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	420	420	420	430	430	
事業目標	目標名	年間利用者数	計算式	年間利用者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	413	411	410	420	420	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	386	401	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	1,200	1,200	1,800	1,800	1,800	(決算額)	うち一財	千円	376	390				
	実績値	1,879	1,681	1,891			正職員人件費	千円	366	370					
	達成度(%)	156.6%	140.1%				人工数	人	0.05	0.05	0.07				
							支出コスト	千円	決見) 752						
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否			
	①	福川シニア交流会館管理事業費 (施設管理運営事業)	福川シニア交流会館の維持管理	地域における福祉活動及びコミュニティ活動の拠点として場を提供することから、地域活性化の一助とす	適正な施設の維持管理を行うことから、福祉活動及びコミュニティ活動に利用できる場を提供する	施設・施設周辺の維持管理 年間利用者数1,891人 年間利用日数189日	正職員	0.05	臨時等	0.01	直接事業費	401	委託	臨時嘱託	
	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 ■ コスト □ その他						細事業評価								
	細事業の課題	施設面:老朽化対策 運営面:直営による管理を行っているが、管理方法についても検討していく必要がある。						B	改善案	継続して実施するが、地域のコミュニティ施設としての幅広い利用を求め、サービス向上に努める必要がある。					
②															
細事業の課題	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						細事業評価								
								改善案							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	市内の高齢者人口は増加しており、今後もこのような傾向は続いていくことは予想され、利用者の増加は見込まれる。高齢者の活動も多様化してきている。	前年度までの指摘事項	継続して実施するが、地域のコミュニティ施設としての幅広い利用を求めたい。今後、公共施設再配置計画の方向性に従って検討していく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	維持のための管理を行う。方向性について今後検討を行う。
	細事業の課題・問題点	地域のコミュニティ活動拠点施設として有効活用され、高齢者の健康と福祉の増進、生きがいのづくりの促進が図られているが、施設の老朽化が進んでいる。今後、公共施設再配置計画の方向性に従って検討が必要。	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	地域のコミュニティ施設としての幅広く利用いただき、利用率向上を目指したい。将来的には、地域による自主運営も含めた検討をしていく必要がある。	改善案	築後46年が経過していることから、適切な改修計画を作成し、計画的な施設の維持管理に努めるとともに、今後、公共施設再配置計画の方向性に従って施設管理を検討していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 継続して実施するが、地域のコミュニティ施設としての幅広く利用いただきながら、将来的には地元管理も含めた施設管理について検討していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500204
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
これまでと同様に施設の維持管理を行う。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	472008	事務事業名	鹿野高齢者生産活動センター管理運営事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康づくりや教養の向上、レクリエーション等、活動の機会を創出し、高齢者の「仲間づくり」や「生きがいづくり」を推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民		意図(どういう状態にしたい): 高齢者の生きがいづくりの意識向上と併せて、生産活動による伝統継承を図る。(H27目標:一日利用人数の登録率60%)		事業の内容 (手段)	高齢者自らが働く喜びと生きがいを持ち、高齢者の連帯感を醸成することを目的に、高齢者の生きがい対策として、自立の研修・生産活動を行う場を提供

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	【年間利用者数】4,684人 【開館日数】238日 【登録者数】24人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	6,092	6,246	6,223	6,147	6,260
事業目標	目標名	年間利用者数	計算式	年間利用者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	6,092	6,246	6,223	6,147	6,260
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	6,092	6,246		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	(決算額)	うち一財	千円	6,092	6,246			
	実績値	4,510	5,482	4,684			正職員人件費	千円	366	370				
	達成度(%)	75.2%	91.4%	78.1%			人工数	人	0.05	0.05	0.06			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 鹿野高齢者生産活動センター管理運営事業費 (施設管理運営事業)		鹿野高齢者生産活動センターの維持管理	高齢者自らの働く喜びと生きがいを持つ場を提供し、高齢者生産活動の活性化を図る	高齢者の連帯感を醸成し、生産活動を通じた生きがい対策のための場を提供する	生産活動センターの維持管理運営年間利用者数5,482人 開館日数238日	正職員	0.05	臨時等	0.01	直接事業費	6,246	委託 可	臨時嘱託 否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価								
	②		施設面:老朽化対策 運営面:円滑な事業実施及びコスト削減			B	改善案	指定管理者と連携し、必要性、有効性を検証しながら、計画的な改修等を行う。						
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価									
						改善案								

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	合併前は、農林関係部署で管理が行なわれていたが、合併後に高齢者福祉関係部署の所管となった施設である。24年度末に、施設の一部を改築し、菓子製造室を設け、高齢者の生きがい対策の向上を図っている。	前年度までの指摘事項	継続して事業運営をしていくが、生産活動による生きがい対策の拠点として、高齢者への就業機会の増大等を図るため、より広域の方に利用していただく環境の整備を必要とする。	指摘事項に対する改善状況	参加促進については継続し、運用方法についても、指定管理者と検討を進めている。
	細事業の課題・問題点	施設の老朽化 生産活動により、就労意欲を高める生きがい対策としての効果を保っており、高齢者の経験や技術を生かした生産活動を実施しているが、利用者が限定されている傾向にあり、多くの高齢者が利用できるしくみづくりを今後検討する必要がある。	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同じ		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	生産活動による生きがい対策としての効果はあるが、利用者が限定されている傾向にあるため、今後の施設利用に関して、より広域の方に利用していただく仕組みづくりを必要とする。	改善案	施設の運営方法や、利用方法など指定管理者とも協議を進め検討を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 継続して事業運営をしていくが、生きがい対策の拠点として、高齢者への就業機会の増大等を図るため、より広域の方の利用向上に向け周知を必要とする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500204
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
これまで同様、指定管理者による施設運営の中で維持管理を行う。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	472023	事務事業名	老人クラブ助成事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	・健康長寿を目的に、中高年からの社会参加を促進します。 ・健康づくりや教養の向上、レクリエーション等活動の機会を創出し、高齢者の「仲間づくり」や「生きがいづくり」を推進します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 概ね60歳以上の者が加入し活動している老人クラブ及び老人クラブ連合会への助成	意図(どういう状態にしたい): 地域に根付いた老人クラブ活動を支援することから、地域活性化および生涯現役社会づくりを推進できる。 (H27目標:老人クラブ加入人数6,000人)	事業の内容 (手段)	生きがい、健康、社会活動他活動を行うため、クラブ運営上に必要とする活動費を助成することにより、会員の増加、活動の活性化を図る。あわせて、高齢者の社会参加と交流拡大から仲間づくり、生きがいづくり等を推進し、生涯現役社会を目指す。	【高齢者福祉の充実】 41.70%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	老人クラブ会員数5,258人、単位クラブ数148クラブ 生涯現役社会づくり事業委託						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費		千円	15,162	15,162	15,162		15,145	15,162					
事業目標	目標名	会員数	計算式	会員人数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	11,817	12,275	12,871	13,082	13,697
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	14,681	14,420		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	7,000	7,000	6,000	6,000	6,000	(決算額)	うち一財	千円	11,794	12,130			
	実績値	5,756	5,512	5,258			正職員人件費	千円	879	961				
	達成度(%)	82.2%	78.7%	87.6%			人工数	人	0.12	0.13	0.34			
							支出コスト	千円	決見) 15,560	決見) 15,381				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否			
	①	生涯現役社会づくり委託事業 (経常的事務事業)	老人クラブ連合会	高齢者が生きがいを持ち、活躍できる社会実現にむけて、高齢者の知識や経験を生かし活躍できる事業を委託する		社会参加、能力を生かす就業、生きがい活動、情報発信等の事業を行う	地域に根付いた老人クラブ連合会が、多方面から事業を行い生涯現役社会づくりを推進できた。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 委託事業の一部について、高齢化などが進み実施が今後難しくなっている事業が出始めている。		細事業評価		B	改善案	受託者である老人クラブ連合会と協議し、業務目的に沿った、より適切な委託となるよう協議が必要					
	②	老人クラブ及び連合会助成事業費 (経常的事務事業)	老人クラブ活動への助成	高齢者の社会参加、仲間づくり、生きがいづくりなどを目的とする。		生きがい、社会活動などの地域活性化に向けた老人クラブ活動を支援することにより、地域活動活性化を図る。	地域に根付いた老人クラブ活動を支援することから、地域活性化および生涯現役社会づくりを推進できた。単位クラブ 148		0.1	0.02	9,014	否	否	
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 国・県からの補助金について減額されていることから、市の負担が大きくなっており、今後も減額されることが予想される。		細事業評価		B	改善案	老人クラブに対する助成方法について、現状に即した形に変更するなど、老人クラブと連携して検討していく必要がある。併せて、自主財源の確保についても確認・検討する必要がある。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	60歳以上の対象者は増加傾向だが、クラブ数及び加入者は減少傾向にある。平成22年度から単位老人クラブ活動費補助金及び老人クラブ運営費補助金の金額を削減している。	前年度までの指摘事項	老人クラブに対する助成事業については、国・県補助金の削減から大変厳しいことが予想されるが、生涯現役社会づくり事業において中心的な団体であり、補助金の見直し等も含めて、協力連携していく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	補助金の支給方法について見直し、人数割助成を導入する予定
	細事業の課題・問題点	生涯現役社会づくり委託事業については、生涯現役、介護予防につながるよう老人クラブと協議のうえ、委託内容について検討していく必要がある。 老人クラブ及び連合会助成事業費については、国・県の事業費補助金がさらに削減される見込みであり、補助金額と支給方法について随時見直しをしていく必要がある。 老人クラブに対しては、自主財源の確保に向けた指導も必要である。	事業全体の課題・問題点	老人クラブで現在行っている会員増強の取組を支援し、生涯現役社会づくりに役立つ組織となるよう、連携を図っていく必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	老人クラブ助成については、国県補助金の削減から大変厳しくなることが予想されるが、今後とも生涯現役社会づくりにおいて中心となる団体であるため、協力・連携していく必要がある。	改善案	補助金の助成体系について随時見直し、自主財源の確保に向けた指導等を行う。老人クラブが会員増に取り組んでいることから、この事業効果を上げるためにも、連携していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 老人クラブに対する助成事業については、国・県補助金の削減から大変厳しいことが予想されるが、生涯現役社会づくり事業において中心的な団体であり、協力連携していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500204
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
老人クラブ活動費補助金については積算方法の見直しを行い、段階的に各単位クラブの会員数の実態に合わせるようにしている。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	472030	事務事業名	全国健康福祉祭やまぐち大会開催推進事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開				25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 全国健康福祉祭やまぐち大会における周南市開催種目に参加する選手・監督等		意図(どういう状態にしたい): スポーツ交流大会をはじめ、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする市民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚が図られ、ふれあいと活力のある長寿社会を形成する。		事業の内容(手段)	全国健康福祉祭開催要綱に基づき行われる、第28回全国健康福祉祭やまぐち大会において、本市開催種目テニス、ベタンク、ソフトバレーボールの大会運営及び健康づくり教室やおもてなしイベント等の関連事業を行う。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○スポーツ交流大会の運営状況、健康づくり教室やおもてなしイベント等の実施内容を調査するため、第27回栃木大会の視察を行った。 ○競技規則、競技方法、大会規定の詳細を定めた種目別開催要領を作成した ○大会の趣旨や内容等を周知するための広報啓発活動を実施 ○本大会を円滑に運営できるよう種目別のリハーサル大会を実施						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
							直接事業費	千円		7,386	52,732	0				
						(予算額) うち一財	千円		2,376	21,476	0					
事業目標	目標名	—		計算式	達成項目/目標項目	単位	%	事業費	直接事業費	千円		6,753		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			(決算額) うち一財	千円		1,926		平成27年度事業終了		
	目標値								正職員人件費	千円	0	0				
	実績値								人工数	人			0.30			
	達成度(%)								支出コスト	千円	決) 0	決見) 6,753				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	① 全国健康福祉祭やまぐち大会開催推進事業		・周南市開催種目の参加予定選手及び競技主管団体の役員 ・一般市民		・大会運営におけるノウハウの習得と課題の把握 ・大会の趣旨や内容を広く周知すること		周南市開催種目のスポーツ交流大会の円滑な運営及び関連事業の推進を図る。		リハーサル大会の検証や栃木大会の視察を踏まえ、大会の方向性を示す基本計画書を作成した。		正職員		臨時等		直接事業費	
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他													
	②															
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他														

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	細事業の課題						改善案						
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
		平成26年度から課内にねりんピック推進室を設置するとともに、兼務辞令が発令された関係課(人事課・観光交流課・文化スポーツ課・健康増進課・公園花とみどり課)と大会準備に向け、連絡調整を行った。	
	①リハーサル大会の検証より、審判員等の養成及び必要数の確保 ②大会運営を支える運営ボランティアの確保 ③選手団バスに係る案内誘導や一般観覧者等に十分配慮した輸送体制の確立 ④選手等の傷病発生に対処するため、応急措置及び医療機関への搬送等を行う医療救護体制の確立 ⑤周南の多彩な魅力と心こもったおもてなしでお迎えし、周南のリピーターとなっていたため、観光交流や物産・コンベンションの推進に取り組む	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同様

所管課評価					
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	全国健康福祉祭やまぐち大会の成功に向け、兼務辞令が発令されている課だけでなく、全庁での推進体制が必要。	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 競技主管団体や関係機関との緊密な連携を図り、自立・共創によるまちづくりを進める本市にふさわしい魅力あふれる大会とするため、総合的な計画の立案と施策の推進を図ることが必要

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	
分野	
基本施策	
推進施策	

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度事業終了

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	473008	事務事業名	生活支援ハウス運営事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 高齢者を地域で支える体制づくり			【高齢者福祉の充実】 %	
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、きめ細やかな介護相談体制の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】 %	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 60歳以上の高齢者に、介護支援、交流機能、居住機能がある居を提供。	意図(どういう状態にしたい): 高齢者が、健康で明るい生活を送れるよう支援し、福祉の増進を図る。	事業の内容(手段)	60歳以上の高齢者に、介護支援、交流機能、居住機能がある居を提供。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【平成26年度実績】 申請3件、入所判定委員会で決定分3件、却下0件 入所者数15人/定員20人(平成27年3月31日現在) 入所3件、退所6件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】	直接事業費	千円	10,901	11,261	10,781		10,985	10,985					
事業目標	目標名	適正入所者数(年度末)	計算式	年度末入所者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	9,689	9,965	9,965	9,965	9,965
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	10,901	11,261				
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	(決算額)	うち一財	千円	9,689	9,965			
	実績値	17.0	18.0	15.0			正職員人件費	千円	847	740				
	達成度(%)	85.0%	90.0%	75.0%			人工数	人	0.10	0.10	0.10			
							支出コスト	千円	決) 11,748	決見) 11,261				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	生活支援ハウス運営事業費 (施設管理運営事業)	市内在住の60歳以上の居宅生活困難者	高齢者の福祉の増進を図る	国の基準により実施しているが、管理運営費について適正化など見直しを進めていく。	前年と比較し、入所者数が減少している。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可 否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 前年と比較し、入所者数が減少している。適切な入所判定のもと、効率的な管理運営を行う。				B	改善案	高齢者が増加傾向の中、適切な入所判定のもと、効率的な運用に努める。						
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成12年4月1日から国の実施要綱により適用。今後とも養護老人ホームと特別養護老人ホームの中間施設として需要が高まる予定	前年度までの指摘事項	所管課評価のとおり、関係施設と連携し運用等について検証されたい	指摘事項に対する改善状況	国の基準により実施しているが、管理運営費については、当施設の目的に沿った利用期間や入所者の処置の適正化など見直して進めていく。
	細事業の課題・問題点	高齢者が増加傾向にある中、適切な入所判定のもと、効率的な管理運営が課題である。国の基準により実施しているが、管理運営費について適正化を進めていく。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	家族の援助が困難かつ独立して生活することに不安のある高齢者等の受け皿としての施設として確保する必要がある。	改善案	国の基準により実施しているが、管理運営費について適正化など見直しを進めていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 適正な入所判定とともに、管理運営費の適正化を図る。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500102
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
利用者数の見込により必要な経費を計上した。

備考

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	老人福祉法第11条の規定に基づき、養護老人ホームへの入所措置を実施。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	同右		事業全体の課題・問題点	老人の生活の安定(家庭環境の調整、身体的精神的健康の保持、向上)を図ることに加え、平成18年度より高齢者虐待防止法が施行されたことにより、相談件数や困難ケースも増加傾向にあり、措置の必要性の見極めとともに適正な入所判定により実施する。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	老人福祉法により規定されており、業務は適正である。対象者に措置の必要性を見極めながら、現行通り継続する。	改善案	十分な事前調査のもと、措置の必要性を見極めながら実施する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 老人福祉法により市が措置を行うこととされており、継続していく必要がある。対象者の判定については、今後も、事前の状況調査を徹底し、適切な措置判定により、継続実施していく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
利用者数の増加が見込まれるため、増額した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	473020	事務事業名	緊急通報体制等整備事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 高齢者を地域で支える体制づくり			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、きめ細やかな介護相談体制の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): ひとり暮らしの在宅高齢者等に対し、緊急通報システムを設置し、対象者の安否確認および相談受付。	意図(どういう状態にしたい): 高齢者の孤独や不安を解消し、在宅で安心安全に過ごすことができる。	事業の内容(手段)	ひとり暮らしの在宅高齢者等に対し緊急通報システムを設置し、対象者の安否確認および相談受付を実施。	【高齢者福祉の充実】	41.70%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	年度末設置台数1,190台 年間緊急通報件数12,799件 年間相談通報件数3,646件								直接事業費	千円	48,517	48,302	38,409	39,828
								(予算額) うち一財	千円	46,297	46,457	36,609	37,651	37,651
事業目標	目標名	計算式	年度末設置台数	単位	台			直接事業費	千円	42,198	35,002		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	40,356	33,202		自己負担基準額の見直しによる、無料認定者の増	
	目標値							正職員人件費	千円	3,296	2,958			
	実績値	1238	1215	1190				人工数	人	0.45	0.40	0.30		
	達成度(%)							支出コスト	千円	決) 45,494	決見) 35,002			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否			
	①	緊急通報体制整備事業 (ソフト事業)	日常生活に不安のある独居等の高齢者等	緊急通報システムを設置することにより、緊急時に適切に対処する。		高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らすことができる。	実績 ・通報件数16,445件 緊急通報件数12,799件 相談通報件数3,646件	正職員	0.3	0.02	35,002	可	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 高齢化により利用者数が増えていくことが予想される。その中で高齢者のニーズを把握し、サービス内容の充実とともに、真に必要な方にサービスが行き届くよう事業の周知を図る。						改善案	利用者からの相談内容、実例を分析し、緊急・相談対応のマニュアルを作成し、事業の効果的かつよりきめ細かなサービスの充実とともに、市民に事業の周知を図る。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成15年度、全市的に消防直結型からセンター直結方式とした。平成25年度、プロポーザル方式による事業者選定を実施し、利用者への適切なサービス内容や最適な価格に見直しを実施。	前年度までの指摘事項	在宅単身高齢者が安心して生活を送るため有効な事業であるが、高齢化に伴う対象者の増加が見込まれる。適正なサービス内容や利用者負担額の検証を早期に進められたい。	指摘事項に対する改善状況	他自治体の利用料調査、最適なサービス内容について検証を行い、明確な仕様のもとで、プロポーザルを実施し、最適なサービス内容と価格設定を行なった。
	細事業の課題・問題点	現在、一時的に入院や家を空けるときに休止という手続きを行っている。休止中は本人が死亡したり、同居人が増えても市が把握することができず、その間の委託料のみが増えている。要綱上6か月以上の長期入院は取り消し対象となるため、休止が長いときは適宜調べ、親族等に状況を確認し、必要時撤去の打診をしていく。	事業全体の課題・問題点	左同様、委託料に影響する「休止・撤去・新設」事案について、実態把握に努め、各手続の迅速化を図る。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすために必要な事業であることから、サービス内容について常に情報収集に努め、より良いサービスが提供できるように検討していく。	改善案	高齢者のニーズを把握し、適切なサービスが提供できるように、調査研究を進め、検討を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な事業である。引き続き利用者の状態により適切なサービスが提供できるように検討していく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
高齢者がより利用しやすいものとするため、自己負担分の基準見直しを実施。利用者の増加見込みによる増。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474007	事務事業名	保険事業勘定繰出金	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 介護保険特別会計	意図(どういう状態にしたい): 介護保険法に定められた負担であり、介護保険特別会計の運営に必要である。	事業の内容 (手段)	介護給付費・地域支援事業費の法定負担分、及び介護保険事業に係る事務費・職員給与費について、介護保険特別会計に繰り出す。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】		項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
	介護給付費繰出金:	1,333,430 千円								直接事業費	千円	1,645,341	1,675,565
			(予算額)	うち一財	千円	1,645,341	1,675,565	1,756,134	1,825,838	1,929,081			
事業目標	目標名	—	計算式	—	単位	—	直接事業費		千円	1,532,918	1,618,338	対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	1,532,918	1,618,338	保険給付費の増加	保険給付費の増加
	目標値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	73	148			
	実績値	—	—	—	—	—	人工数	人	0.01	0.02	0.03		
	達成度(%)	—	—	—	—	—	支出コスト	千円	決) 1,532,991	決見) 1,618,338			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否			
	①	保険事業勘定繰出金事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	適正な介護保険特別会計の運営	適正な介護保険特別会計の運営	認められた経費につき一般会計より繰出し		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
								0.02	0	1,618,338	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
②							A	改善案	—				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
								改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・介護給付費の増加に伴い一般会計からの繰入金も増加傾向。 ・第6期計画から予防事業の大幅な制度改正が見込まれている。 	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	同左	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	適正に繰入処理しているため。	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
給付費および消費税率改定に伴う低所得者保険料軽減繰入金により増額となった。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474009	事務事業名	介護保険低所得者利用者負担対策事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・要支援・要介護者 ・低所得者に係る費用を減額した特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人	意図(どういう状態にしたい): 施策移行による負担増をなくすことができる。 社会福祉法人の低所得者対策を支援する。	事業の内容 (手段)	障害者施策でホームヘルプサービスの利用料減免を受けていた方が、年齢到達で介護保険のに移行した際の利用者負担を免除する。 特別養護老人ホーム等の利用者のうち、低所得者に係る費用を減額した社会福祉法人に対しその一部を補助する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人が減額し負担した件数:0件 ・障害者施策でホームヘルプサービスの利用料減免を申請件数:0件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	121	96	2,025	1,590	2,025	
事業目標	目標名	-	計算式	受給件数		単位	件	(予算額)	うち一財	千円	30	25	507	398	507
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円						対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	5	5	5.0	20.0	20.0	(決算額)	うち一財	千円						
	実績値	0.0	0.0	0.0			正職員人件費	千円	440	518					
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人	0.06	0.07	0.09				
							支出コスト	千円	決) 440	決見) 0					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①	介護保険低所得者利用者負担対策事業 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	社会福祉法人の低所得者対策の支援		・低所得者並びに費用を負担した社会福祉法人対策として支援する。	自己負担部分の助成。 社会福祉法人への補助。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価										
	細事業の課題						A		改善案		—				
	②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価											
								改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	細事業の課題							改善案					
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	特養施設生保入所者に係る多床室からユニット型への移行による負担増	前年度までの指摘事項	-	指摘事項に対する改善状況	-
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	国の制度に沿って適正な処理をしているため。	改善案	-

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 低所得者対策事業については、今後も継続が必要である。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
H27年度以降、特養施設(一部)改築に伴い、多床室からユニット型へ変更となったため継続的に増額となる。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	474017	事務事業名	介護サービス事業勘定繰出金	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態になったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、地域密着型サービスを始めとする介護サービスの基盤整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市介護老人保健施設夢風車の地方債償還元金及び利子を助成する。	意図(どういう状態にしたい): 建設費の償還を継続して行うことにより、適正な財政運営を図る	事業の内容 (手段)	介護老人保健施設(H15年度建設)に設置した、訪問看護ステーション建設費に係る地方債償還元金。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	償還計画額:115千円						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	872	115	116	116	116
事業目標	目標名	—	計算式	—	単位	—	(予算額) うち一財	千円	872	115	116	116	116	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	871	115		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	871	115				
	実績値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	73	148		—	—	
	達成度(%)	—	—	—	—	—	人工数	人	0.01	0.02				
							支出コスト	千円	決) 944	決見) 115				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 介護サービス事業勘定繰出金 (経常的事務事業)		周南市が行う事務事業	適正な地方債償還運営	適正な地方債償還運営	認められた経費につき一般会計より繰出し	正職員	0.02	臨時等	0	直接事業費	115	委託	否
													臨時嘱託	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
							A	改善案	—					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	返済計画に沿って返済しているため、予定通りの償還金の計上。	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	償還計画通りの予算計上、返済完了となっているか。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	適正に繰入処理しているため	改善案	—

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適正な事業運営に努め、市民に定着した事業となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
建設費の償還を継続して行う。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	475005	事務事業名	在日外国人高齢者等福祉給付金支給事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ14 社会保障制度の運営	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)生活困窮者への自立支援			【 】 %	
	推進施策の展開	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。			25年度市民評価の満足度	
	【 】 %					
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 高齢者のうち国民年金制度上、受給資格を得ることができなかった在日外国人等		意図(どういう状態にしたい): 高齢者の福祉の増進をはかり、対象者の生活の安定を図る。		事業の内容(手段)	高齢基礎年金等の受給資格を得ることのできなかった低所得の外国人及び帰国者等(配偶者および扶養義務者も低所得者)に対し、給付金を給付し、生活資金を援助(生活保護受給中の場合は給付停止。)を行う。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		【支給金額】1万円/月 H26年度末受給高齢者 :4人				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
【26年度】							直接事業費	千円	720	720	720	600	600			
							(予算額) うち一財	千円	720	720	720	600	600			
事業目標	目標名	—		計算式	該当人数	単位	人	直接事業費	千円	600	600	対27年度増減理由 対28年度増減理由				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	600	600						
	目標値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	293	74						
	実績値	6.0	5.0	4.0			人工数	人	0.04	0.01	0.10					
	達成度(%)	—	—	—			支出コスト	千円	決) 893	決見) 674						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		委託等の可否		
	事業の分類										正職員		臨時等		直接事業費	
	①	在日外国人高齢者等福祉給付金支給事業費(ソフト事業)	高齢者のうち国民年金制度上、受給資格を得ることができなかった在日外国人等	給付金を給付し、経済的に自立した生活を援助。	高齢者 4人支給。【支給金額】1万円/月	高齢者 4人支給。(1人生活保護受給中のため支給停止)【支給金額】1万円/月	0.01	0	600	否	否					
	細事業の課題		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 国民年金の制度上、老齢基礎年金等の受給資格を得ることができなかった在日外国人等の高齢者の方に対し、経済的に給付金を支給して支援している。他市の状況も勘案し継続していきたい。				B	改善案	無年金在日外国人等低所得者への給付金であり、継続して実施していく必要がある。該当者がいなくなった時点で廃止とする。							
	②															
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他														

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	受給対象者の高齢化により、受給者の減	前年度までの指摘事項	無年金在日外国人等低所得者への給付金であり、継続して実施していく必要がある。現下の財政状況に鑑み、現行で実施を行う。	指摘事項に対する改善状況	対象者が限定される事業であるが、低所得者に対する給付制度であるため、継続していきたい。
	細事業の課題・問題点	無年金在日外国人等低所得者への給付金であり、継続して実施していく必要がある。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	他市の状況も勘案しながら、無年金在日外国人等低所得者への経済支援であり、継続して実施していく必要がある。現下の財政状況に鑑み、現行で実施を行う。	改善案	無年金在日外国人等低所得者への給付金であり、継続して実施していく必要がある。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	無年金在日外国人等低所得者への給付金であり、継続して実施していく必要がある。現下の財政状況に鑑み、現行で実施を行う。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500101
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	1地域福祉の推進
推進施策	(1)地域福祉活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
対象者数の減少により減額した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	475008	事務事業名	周南地区福祉施設組合負担金	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 高齢者を地域で支える体制作り			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、きめ細かな介護相談体制の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 養護老人ホーム「きさんの里」を運営するため、周南地区福祉施設組合に対し、周南市と下松市で運営費を負担	意図(どういう状態にしたい): 援護が必要な高齢者が生活の安定した生活を営む施設が運営される。	事業の内容(手段)	負担金の支払、運営		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	周南市と下松市が一部事務組合を設置し、運営している養護老人ホーム「きさんの里」の費用負担割合(周南市73.1%、下松市26.9%)により拠出した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	【26年度】	年度未入所者/入所者定員 111人/120人 *うち周南市措置者数は82人						直接事業費	千円	29,589	24,773	22,548	26,793	24,670		
事業目標	目標名	利用割合	計算式	周南市の措置者数/入所者定員数	単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円	29,589	24,773	22,548	26,793	24,670		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	29,589	24,277					
	目標値	73.1	73.1	73.1	73.1	73.1		(決算額) うち一財	千円	29,589	24,277					
	実績値	65.0	67.5	68.3				正職員人件費	千円	73	74					
	達成度(%)	88.9%	92.3%	92.3%				人工数	人	0.01	0.01	0.01				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	周南地区福祉施設組合負担金	事務対象	周南地区福祉施設組合(養護施設)	事務業務目的	周南市と下松市で周南地区福祉施設組合を運営し福祉事業の充実を図る	事務業務目標	福祉施設組合と運営費の効率化を協議しながら、現状通り実施していく		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否		
	①	周南地区福祉施設組合負担金(施設管理運営事業)										正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
												0.01		24,773	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 運営費の効率化は永久的課題である。						B	改善案	福祉施設組合と運営費の効率化を協議しながら現状とおり実施していく。						
	②															
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他							改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点

所管課評価				
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由 周南市と下松市で運営費を負担しており、一部事務組合への負担金を負担しないことは出来ない。	改善案 福祉施設組合と運営費の効率化を協議しながら現状とおり実施していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 周南市と下松市で運営費を負担しており、一部事務組合への負担金の負担しないことはできない。福祉施設組合と運営費の効率化を協議しながら現状とおり実施していく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
周南市と下松市で運営費を負担しており、福祉施設組合と運営の効率化を図りながら実施する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名		福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政			
事務事業コード	475014	事務事業名	老人福祉施設整備費等助成事業費	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	III 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	III1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	III12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)高齢者を地域で支える体制づくり			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域で暮らせるように、高齢者の生活を地域で支える取り組みを進めます。健康づくりや教養の向上、レクリエーション等、活動の機会を創出し、高齢者の「仲間づくり」や「生きがいづくり」を推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 社会福祉法人	意図(どういう状態にしたい): 施設整備費の負担が軽減されることから、施設運営に力を入れられることで安定した運営が期待できる。 (H27実施:5施設23,026千円)		事業の内容(手段)	地域福祉のハード面の推進に寄与するために、民間法人の施設整備費を補助	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		7施設の施設整備費に助成。					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
【26年度】								直接事業費	千円	47,134	46,425	23,026	11,553	11,472			
								(予算額) うち一財	千円	46,929	46,244	23,004	11,540	11,459			
事業目標	目標名	—		計算式	—		単位	-									
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	47,133	46,424	対27年度増減理由		対28年度増減理由				
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円	46,928	46,244	平成27年度で助成を終了する施設があるため。						
	実績値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	513	74							
	達成度(%)	—	—	—	—	—	人工数	人	0.07	0.01	0.13						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	① 老人福祉施設整備費等助成事業費 (経常的事務事業)		老人福祉施設		法人等の施設管理・運営の安定化を図り、必要な福祉サービスの提供に支障がないようにする。 (H26実施:7施設46,424千円)		施設整備費の負担が軽減されることから、施設運営に力を入れられることで安定した運営が期待できる。 (H26実施:7施設46,424千円)		7施設の施設整備費に助成。(債務負担行為)		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	■ 妥当性		<input type="checkbox"/> 有効性		<input type="checkbox"/> 効率性		<input type="checkbox"/> コスト		<input type="checkbox"/> その他		細事業評価						
	細事業の課題		社会福祉法人に対する、補助であるが、平成20年以降建設に係る補助は行っていない。今後の介護保険制度の動向、施設のニーズ等を踏まえ必要に応じて補助を行っていく必要がある。										A	改善案			
②																	
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他										細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
	③											
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
							改善案					
	④											
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	介護サービスの増加に伴い、施設の建設等に補助を行っている。やまなみ荘H7～26年度、やまなみ荘増床分H16～36年度、やすらぎ苑ディH7～H26、鼓ヶ浦ディH8～H27、福寿荘H12～H31、ケアハウス新南陽H8～H27、友愛園H19～H38	前年度までの指摘事項	今後も介護を必要とする高齢者は増加が予想され、介護サービスの安定的供給という点から、施設の充実は計画的に実施を図るべきである。	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	社会福祉法人に対する、補助であるが、平成20年以降建設に係る補助は行っていない。今後の介護保険制度の動向、施設のニーズ等を踏まえ必要に応じて補助を行っていく必要がある。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同じ	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	今後も介護を必要とする高齢者は増加が予想され、介護サービスの安定的供給という点から、施設の充実が計画的に実施を図るべきである。	改善案	—
----	---	---	------	---	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	今後も介護を必要とする高齢者は増加が予想され、介護サービスの安定的供給という点から、施設の充実は計画的に実施を図るべきである。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
「鼓ヶ浦老人デイサービスセンター・在宅介護支援センター」及び「軽費老人ホームケアハウス新南陽」の建設費補助が、平成27年度をもって終了した。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	475016	事務事業名	長寿祝金支給事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)介護予防の推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、介護予防事業を推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 88歳、99歳以上の高齢者		意図(どういう状態にしたい): 長寿祝金を対象者へ支給することから、市民の敬老精神の高揚を図れ、対象者が福祉・生活の一助として活用できる。(H27目標:対象者980人へ支給)		事業の内容 (手段)	多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者の長寿を祝福し、対象者に対して長寿祝金を支給することにより、高齢者福祉の増進と市民の敬老精神の高揚を図る。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	長寿祝金を民生委員からの手渡し、口座振込等により配布・支給を行った。 【支給実績 914人】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	9,825	9,845	9,845	10,045	10,545
事業目標	目標名	支給実績		計算式	—		事業費	(予算額) うち一財	千円	9,825	9,845	9,845	10,045	10,545
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	9,068	9,167		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	—	—	—	—	—		(決算額) うち一財	千円	9,068	9,167			
	実績値	830	905	914				正職員人件費	千円	1,905	1,923			
	達成度(%)	—	—	—				人工数	人	0.26	0.26	0.28		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	長寿祝金支給事業 (ソフト事業)	9月1日に市内に住所のある、その年中に88歳、99歳以上になる者	長寿祝金を支給することにより、対象者の高齢者福祉の増進と市民の敬老精神の高揚を図る	対象となる高齢者の福祉増進と市民の敬老精神の高揚に寄与する	長寿祝金の配布・支給 9月1日基準対象者914人に対し、全員へ配布・支給	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 ■ コスト □ その他						細事業評価							
	細事業の課題	今後、さらに高齢化が進むことから、対象者の増加によるコストの増大が予想される。敬老のお祝いとして継続することがよいか、形を変えて充実を図る方がよいか、検討する必要がある。						C	改善案	敬老のお祝い事業として、他の事業との整合を図りながら充実させていくのか、将来的な高齢者福祉施策に対する財源確保も含めた、有効な事業促進を図っていくのかなど検討が必要である。				
②														
細事業の課題	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他						細事業評価							
						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	対象高齢者に対する祝金支給として、口座振込していたが、民生委員を通じた手渡しを基本に事業を継続している。	前年度までの指摘事項	敬老のお祝い事業として、より充実したものとするため、敬老会事業・長寿祝金事業と併せて総合的な検討をしていく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	他市の状況も勘案しながら、実施内容、支給方法等について検討を図る。
	細事業の課題・問題点	敬老のお祝い事業について、他事業との整合から継続・見直し・廃止を含めて検討をしていく必要がある。	事業全体の課題・問題点	高齢者福祉サービス全体の充実を図るために、限られた予算の中で有効なサービス提供ができる事業の再編が求められる。		

所管課評価						
評価	C	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	敬老のお祝い事業として、より充実したものとするため、敬老会事業・長寿祝金事業と併せて総合的な検討をしていく必要がある。	改善案	お祝い事業全般の見直しや、事業のあり方を検討していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C 敬老のお祝い事業として、より充実したものとするため、敬老会事業・長寿祝金事業と併せて総合的な検討をしていく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500203
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(3)介護予防の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
これまで同様に事業を実施するが、助成対象者の増加が見込まれることから増額となった。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	475023	事務事業名	老人憩の家管理運営事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康づくりや教養の向上、レクリエーション等活動の機会を創出し、高齢者の「仲間づくり」や「生きがいづくり」を推進します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 久米・西部・和田老人憩の家:60歳以上の者	意図(どういう状態にしたい): 施設環境を維持し、高齢者の生きがいづくりに利用できる場を提供できる。(H26目標:主な施設利用人数(石船温泉)H27:50,000人) ※石船以外の憩の家稼働率45%	事業の内容(手段)	高齢者の健康と福祉増進及び生きがいづくりの促進を目的に、老人憩の家を管理運営し、地域住民との交流の場を提供	【高齢者福祉の充実】 41.70%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	年間利用者数						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】	石船温泉憩の家:47,801人、西部老人憩の家:1,342人、久米老人憩の家:2,082人、和田老人憩の家1,101人							直接事業費	千円	10,205	10,480	10,510	15,459	15,720
事業目標	目標名	石船温泉利用者数	計算式	石船温泉利用者数		単位	人	(予算額)	うち一財	千円	10,071	10,346	10,379	15,326	15,580
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	10,299	10,487		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000		(決算額)	うち一財	千円	10,168	10,370		指定管理料の見直しによる増加	
	実績値	46,188	50,259	47,801				正職員人件費	千円	366	370				
	達成度(%)	92.6%	111.7%	95.6%				人工数	人	0.05	0.05	0.13			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト	委託等の可否	
	事業の分類										正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
	①	西部老人憩の家管理運営事業費 (施設管理運営事業)	地域老人憩の家の維持管理	高齢者の健康増進・生きがいづくりの場を提供し、地域住民間交流を通じて地域活性化の一助とする	健康増進・生きがいづくり・地域住民交流の場を提供する	年間利用者数1,342人 施設の維持管理を指定管理者により行い、高齢者の生きがいづくりに利用できる場として提供できた。	0.01	0.01	439	可	否				
	細事業の課題		■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他				細事業評価								
施設面:老朽化対策 運営面:利用者が固定している状況						B	改善案	指定管理者と連携を取りながら、必要な施設改善、コスト削減を図る必要がある。将来的に自治会館等に転用するなど地域譲渡による多目的活用を見据える等検討したい。							
②	久米老人憩の家管理運営事業費 (施設管理運営事業)	地域老人憩の家の維持管理	高齢者の健康増進・生きがいづくりの場を提供し、地域住民間交流を通じて地域活性化の一助とする	健康増進・生きがいづくり・地域住民交流の場を提供する	年間利用者数2,082人 施設の維持管理を指定管理者により行い、高齢者の生きがいづくりに利用できる場として提供できた。	0.01		479	可	否					
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他				細事業評価									
施設面:老朽化対策 運営面:高齢者の憩の場としてニーズは高い						B	改善案	指定管理者と連携を取りながら、必要な施設改善、コスト削減を図る必要がある。将来的に自治会館等に転用するなど地域譲渡による多目的活用を見据える等検討したい。							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
事業を構成する細事業【26年度実績】	③ 和田老人憩の家管理運営事業費 (施設管理運営事業)	地域老人憩の家の維持管理	高齢者の健康増進・生きがいがいづくりの場を提供し、地域住民間交流を通じて地域活性化の一助とする	健康増進・生きがいがいづくり・地域住民交流の場を提供する	年間利用者数1,101人 施設の維持管理を行い、高齢者の生きがいがいづくり利用できる場として提供できた。	0.01		505	可	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他			細事業評価					
	施設面:老朽化対策 運営面:高齢者のニーズはあるが利用状況は、横ばいである。					B	改善案	将来的に自治会館等に転用するなど地域譲渡による多目的活用を見据える等検討したい。		
	④ 石船温泉老人憩の家管理運営事業費 (施設管理運営事業)	地域老人憩の家の維持管理	高齢者の健康増進・生きがいがいづくりの場を提供し、地域住民間交流を通じて地域活性化の一助とする	健康増進・生きがいがいづくり・地域住民交流の場を提供する	年間利用者数47,801人 施設の維持管理を指定管理者により行い、高齢者の生きがいがいづくり利用できる場として提供できた。	0.02		9,064	可	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価						
施設面:老朽化対策 耐震診断(一次診断)で耐震性がないとされているため、二次診断を実施する必要がある。 運営面:さらなる経営改善を図る必要がある。観光施設としての位置づけの検討					B	改善案	指定管理者と連携を取りながら、必要な施設改善、コスト削減を図る必要がある。観光施設としての鹿野地区一帯で活用できるよう、関係部局とも協議が必要			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
課題・問題等	事業開始からの環境変化	石船温泉憩の家は平成16年度に施設のリニューアルを行った。また、西部、久米、石船温泉の3施設は平成18年度から指定管理者による管理・運営を行っている。	前年度までの指摘事項	全般的に施設の老朽化が進んでおり、計画的な改修を行う必要がある。老人憩の家については、地域のコミュニティ施設としての需要があり、地域で自主運営を行えば利用者の制限もなくなることから、今後は地域への譲渡も含めて検討する必要がある。
	細事業の課題・問題点	施設全般で老朽化が進んでおり、計画的な対策が必要である。老人憩の家については、地域コミュニティ活動拠点として有効活用されており、公共施設再配置計画の方向性に従って検討していく。石船温泉については、利用促進を進め、観光施設として鹿野地区一帯で活用できるよう、関係部局との協議が必要である。	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	全般的に老朽化が進行しており、計画的な改修を必要とする。老人憩の家については、地域のコミュニティ施設としても利用されていることから、今後は公共施設再配置計画の方向性に従って検討が必要である。	改善案	必要性、有効性を検証しながら、計画的な改修等を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 全般的に施設の老朽化が進んでおり、計画的な改修を行う必要がある。老人憩の家については、地域のコミュニティ施設としての需要があり、地域で自主運営を行えば利用者の制限もなくなることから、今後は地域への譲渡も含めて検討する必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500204
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
これまでと同様、指定管理者による施設運営の中で維持管理を行う。(和田は直営で管理)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	475029	事務事業名	嶽山荘管理運営事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康づくりや教養の向上、レクリエーション等活動の機会を創出し、高齢者の「仲間づくり」や「生きがいづくり」を推進します。			25年度市民評価の満足度	
		【高齢者福祉の充実】	41.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 高齢者を中心とした幅広い利用者	意図(どういう状態にしたい): 休養の場を提供し、閉じこもり防止や心身のリフレッシュを図る	事業の内容 (手段)	高齢者の心身の休養と健康増進のため、低廉な料金で入浴などの場を提供(高齢者以外の人の利用可)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	年間利用者数40,265人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
									直接事業費	千円	22,226	23,103	23,342	24,554	25,013	
							(予算額) うち一財	千円	22,169	23,038	23,274	24,487	24,946			
事業目標	目標名	年間利用者数	計算式	年間利用者数	単位	人	直接事業費	千円	22,226	23,103		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	22,156	23,032		指定管理料の見直しによる増加				
	目標値	40,000	40,000	40,000	41,000	41,000	正職員人件費	千円	513	518						
	実績値	38,811	36,752	40,265			人工数	人	0.07	0.07	0.09					
	達成度(%)	97.0%	91.9%	100.7%			支出コスト	千円	決見) 22,739	決見) 23,621						
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否					
	①	嶽山荘管理運営事業費 (施設管理運営事業)	老人休養ホーム嶽山荘の維持管理	高齢者の心身の休養と健康増進を目的に、低廉な料金で入浴などの場を提供する。	地域高齢者の交流の場として提供し、地域高齢者グループの活動・介護予防活動の活性化を図る	年間利用者数40,265人 高齢者の休養の場として提供し、閉じこもりを防止し心身のリフレッシュを促進した。	正職員	0.07	臨時等	0.01	直接事業費	23,103	委託	可	臨時嘱託	否
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価									
	細事業の課題	施設面:老朽化対策 運営面:設備についての要望はあるが、接遇の満足度は高い。					B	改善案	指定管理者と連携を取りながら、必要な施設改善、コスト削減を図る必要がある。閉荘した太華荘の代替施設としての利用もあるが、老朽化しているため施設の存続も今後検討する必要がある。							
②																
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価										
							改善案									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	高齢者人口の増加に伴い施設の利用者は増加している。宿泊部門については平成16年度をもって廃止した。平成18年度からは指定管理者制度を導入している。	前年度までの指摘事項	全般的に施設の老朽化が進んでおり、計画的な改修を行う必要がある。老人休養ホーム機能の移転・存続等について今後とも検討する必要がある。	指摘事項に対する改善状況	旧太華荘の代替施設としての位置付けもあり、当面は現行のまま維持する。計画的に改修を行いながら、施設の必要性、有効性を検証していく。
	細事業の課題・問題点	施設全般で老朽化が進んでおり、計画的な対応が必要である。施設統廃合と併せ、老人休養ホームとしての存続について検討していく必要がある。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	全般的に老朽化していることから計画的な改修を必要とする。施設運営に関する要望は高く、当面は継続させるが、老人休養ホームとしての存続については検討する必要がある。 耐震診断(1次)により、建物の耐震性が確保されていることは確認済	改善案	築後42年が経過していることから、必要性、有効性を検証しながら、計画的な改修等を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 全般的に施設の老朽化が進んでおり、計画的な改修対応が必要である。老人休養ホーム機能の存続等について今後とも検討する必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500204
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
これまで同様、指定管理者による施設運営の中で維持管理を行う。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者(課長)	青木 正行	評価責任者(部長)	大西 輝政
事務事業コード	475032	事務事業名	軽費老人ホームきずな苑管理運営事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)高齢者を地域で支える体制づくり			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための、きめ細やかな介護相談体制の整備を進めます。			25年度市民評価の満足度	【高齢者福祉の充実】 41.70%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 60歳以上の人(身体要件、所得要件あり)	意図(どういう状態にしたい): 入所者の自立した生活環境を提供する。(H27目標: 入所者数 50人)	事業の内容(手段)	日常生活上、必要な便宜を提供し入所者が健康で明るい生活を送れるよう、施設を管理運営		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		【年間延べ利用者数】15,394人、1日当たりの利用者42.2人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)						
【26年度】									直接事業費	千円	79,472	79,837	79,074	79,146	80,610						
									(予算額) うち一財	千円	36,683	36,873	36,089	42,835	44,299						
									直接事業費	千円	79,207	79,384		対26年度増減理由	対27年度増減理由						
事業目標	目標名	入所率	計算式	1日あたりの入所人数/定員数	単位	人	事業費	(決算額) うち一財	千円	42,541	43,376		消費増税に伴う増加								
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		正職員人件費	千円	440	444										
	目標値	50	50	50	50	50		人工数	人	0.06	0.06	0.09									
	実績値	42.9	42.8	42.2				支出コスト	千円	決見) 79,647	決見) 79,828										
	達成度(%)	85.8%	85.6%	84.4%																	
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否					
	①	軽費老人ホームきずな苑管理運営事業費 (施設管理運営事業)	60歳以上の人(身体要件、所得要件あり)		入所者が健康で明るい生活を送れるよう、食事、各種余暇活動など日常生活に必要な便宜を提供す		入所者が健康で明るい生活を送れるよう、食事、各種余暇活動など日常生活に必要な便宜を提供する。		【年間延べ利用者数】15,394人、1日当たりの利用者42.2人			正職員	0.06	臨時等	0	直接事業費	79,384	委託	否	臨時嘱託	可
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ハード面では、施設の老朽化対策が必要。要援護高齢者の増加により、施設の必要性は高い。						B		改善案		平成18年度から指定管理者制度を導入していることにより、効率的かつ円滑な管理運営が行われている。指定管理者と協議しながら、施設の管理、効率的な運営に努めた。									
	②																				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他																				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	運営を福祉事業団に委託し、入所・利用料の決定は市長が行っていたが、平成18年度から指定管理者にて管理運営及び入所・利用料の決定を行っている。	前年度までの指摘事項	今後も定員どおりの入所者が見込まれ、当面は現状のまま事業を継続する。	指摘事項に対する改善状況	指定管理者と、今後も廃止または民営化等について検討協議を行っていく。
	細事業の課題・問題点	高齢者の増加により、施設の必要性は高いものの、施設の老朽化対策が必要。運営コストについてはほぼ横ばいであるが、大規模な修繕が必要となった場合は経費の増大が見込まれる。	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	エレベーターの設置など、居住環境の改善を図ったことにより、今後も定員に近い入所者が見込まれ、当面は現状のまま事業を継続する。	改善案	新耐震基準で建築された建物だが、築後32年を経過していることから、計画的な改修等を検討し、当面事業継続する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 今後も定員に近い入所者が見込まれ、当面は現状のまま事業を継続する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500201
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(1)高齢者を地域で支える体制づくり

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
これまで同様、指定管理者による施設運営の中で維持管理を行う。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	475035	事務事業名	老人福祉センター管理運営事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための、きめ細やかな介護相談体制の整備を進めます。健康づくりや教養の向上、レクリエーション等活動の機会を創出し、高齢者の「仲間づくり」や「生きがいづくり」を推進します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 概ね60歳以上の人	意図(どういう状態にしたい): 生きがい支援のために施設の利用促進を図り、あわせて機能訓練等により利用者の健康増進を図る。	事業の内容 (手段)	高齢者の生きがい支援や健康増進への寄与を目的に、老人福祉センターを設置する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	年間利用者数19,992人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	10,171	8,690	8,701	8,800	9,015
事業目標	目標名	利用者数	計算式	利用者数/目標利用者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	10,171	8,690	8,701	8,800	9,015
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	9,838	8,690		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	17,000	17,000	18,000	20,000	20,000	(決算額)	うち一財	千円	9,838	8,690			
	実績値	17,022	17,041	19,992			正職員人件費	千円	440	518				
	達成度(%)	100.1%	100.2%	111.1%			人工数	人	0.06	0.07	0.09			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	老人福祉センター管理運営事業費 (施設管理運営事業)	新南陽老人福祉センターの維持管理	高齢者の福祉活動を総合的に推進するための施設としてセンターを設置する。	高齢者の生きがい支援や健康増進に寄与することを目的として場を提供し、利用者の機能向上・介護予防及び高齢者活動の活性化を図る。	新南陽老人福祉センターの維持管理運営 年間利用者数19,992人	0.07	0.01	8,690	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 必要な施設改善、コスト削減を図る必要がある。類似する他施設との統合、併設する嶽山荘とも併せて存続等について今後検討する必要がある。 耐震診断(一次診断)で耐震性がないとされているため、二次診断を実施する必要がある。					B	改善案	指定管理者と連携して、施設の改善やコスト削減に努める必要がある。類似他施設との統合や、併設する嶽山荘も含めた施設の存続等について、今後検討していく必要がある。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題									細事業評価
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	細事業の課題						改善案					
	④											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	高齢者人口の増加に伴い、老人の教養の向上、レクリエーション及び機能回復訓練等に対する社会的要請が増大している。平成18年度から指定管理者制度を導入している。	前年度までの指摘事項	全般的に老朽化しているため、計画的な改修を行う必要がある。同様の機能を持つ施設との統合、同施設の存廃について今後とも検討していく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	今後、公共施設再配置計画の方向性に従って検討していく。
	細事業の課題・問題点	施設全般に老朽化のため計画的対策を必要とする。類似施設等との統廃合、併設する嶽山荘と併せて複合化等について検討する必要がある。	事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点と同じ		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	全般的に老朽化していることから計画的な改修を必要とする。機能面において要望は高く、当面は継続させるが、他施設との複合化等について検討する必要がある。	改善案	築後36年が経過しており、耐震診断の結果をふまえて、今後は公共施設再配置計画の方向性に従って検討していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 全般的に老朽化しているため、計画的な改修を行う必要がある。同様の機能を持つ施設との複合化等について今後とも検討していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500204
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
これまで同様、指定管理者による施設運営の中で維持管理を行う。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	475038	事務事業名	老人福祉施設維持管理事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	健康づくりや教養の向上、レクリエーション等活動の機会を創出し、高齢者の「仲間づくり」や「生きがいつくり」を推進します。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): —	意図(どういう状態にしたい): 各施設維持が適正に維持でき利用者が快適かつ安全に過ごせる	事業の内容 (手段)	・老人福祉施設の老朽化等による修繕対応により、利用者の利便性・安全性を確保 ・旧太華荘の解体までの維持管理		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	修繕件数26件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
									直接事業費	千円	6,207	7,589	3,098	10,792	3,000	
							(予算額) うち一財	千円	6,205	7,587	3,096	10,792	3,000			
事業目標	目標名	—	計算式	—	単位	—	直接事業費	千円	5,931	11,223		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	5,931	11,221		嶽山荘貯水槽取替工事の計上による増額				
	目標値	—	—	—	—	—	正職員人件費	千円	513	518						
	実績値	—	—	—	—	—	人工数	人	0.07	0.07	0.09					
	達成度(%)	—	—	—	—	—	支出コスト	千円	決見) 6,444	決見) 11,741						
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否					
	①	老人福祉施設維持管理事業費 (施設管理運営事業)	老人福祉施設の維持管理改修等	老人福祉施設の老朽化に伴う修繕等を行う。	施設利用者の利便性や安全性を確保する。	老人福祉施設の修繕等修繕件数26件	正職員	0.07	臨時等	0	直接事業費	11,223	委託	可	臨時囑託	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の老朽化が著しいため、突発的な大規模改修が増加すると思われる。それに伴い修繕料も増えることが予測される。					B	改善案	必要性、有効性を検証しながら、計画的な改修等を行う。							
	②															
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
		④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	老人福祉施設全般、老朽化が進み、維持管理、修繕等に係る費用が増大している。	前年度までの指摘事項	老人福祉施設全般的に老朽化しているため、計画的な改修を行うための改修計画等の作成を必要し、優先順位が高いところから効率的な修繕が出来るようにしていく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点	老人福祉施設全般、老朽化が進み、維持管理、修繕等に係る費用が増大している。今後、公共施設再配置計画の方向性に従って検討していく。		事業全体の課題・問題点	細事業の課題・問題点に同じ	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	安心・安全の観点から施設の維持管理は必要不可欠である。	改善案	必要性、有効性を検証しながら、公共施設再配置計画の方向性に従って計画的な改修等を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 老人福祉施設全般的に老朽化しているため、計画的な改修を行うための改修計画等の作成を必要し、優先順位が高いところから効率的な修繕が出来るようにしていく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500204
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
修繕費用については、建物の維持管理上必要なものを計上している。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	475012	事務事業名	緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができる街づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 介護サービスの充実			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開	市内の通所介護事業所を対象に介護職員の育成及び人材確保を目的とし、介護職員初任者研修(ヘルパー2級)の資格取得をさせ介護現場での人材育成を図ります。			25年度市民評価の満足度	
					【高齢者福祉の充実】	41.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民	意図(どういう状態にしたい): 未就業者に雇用の機会を与える。(介護保険事業関係においては、介護職員の人材育成を図り、雇用不足の解消に努める)。		事業の内容 (手段)	市内の通所介護事業所を対象に介護職員の育成を目的とし、ヘルパー2級の資格取得をさせ係る賃金等の費用を補助。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	市内7カ所のデイサービスセンターで実施						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	雇用実績人数: 9 人							直接事業費	千円	21,513	41,482	0	0	0	
事業目標	目標名	—		計算式	雇用人数		単位	人	事業費	(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		18,145	11,778	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	—	—	—	—	—	(決算額) うち一財	千円		0	0				
	実績値	9	8	9			正職員人件費	千円		73	148				
	達成度(%)	—	—	—			人工数	人		0.01	0.02	0.00			
						支出コスト	千円	決) 18,218	決見) 11,778						
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
	①	緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業費 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	未就業者に雇用の機会を与える。(介護保険事業関係においては、介護職員の人材育成を図り、雇用不足の解消に努める)。	未就業者に雇用の機会を与える。(介護保険事業関係においては、介護職員の人材育成を図り、雇用不足の解消に努める)。	ヘルパー2級を取得させ、介護現場での雇用に結び付いた。	0.02	0	11,778	可	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
								A	改善案						
②															
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
								改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	特になし(H26年度で終了)	前年度までの指摘事項	—	指摘事項に対する改善状況	—
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点			

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	雇用者の確保の促進につながっている。	改善案	特になし(H26年度で終了)

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 雇用者の確保の促進に一定の効果はあったと考えている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	福祉部高齢者支援課	評価者 (課長)	青木 正行	評価責任者 (部長)	大西 輝政
事務事業コード	475040	事務事業名	旧太華荘解体敷地整備事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域の特性を生かしながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、いきいきと、安心して暮らしていくことができるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)生涯現役社会づくりの推進			【高齢者福祉の充実】	37.10%
	推進施策の展開				25年度市民評価の満足度	【高齢者福祉の充実】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 旧太華荘	意図(どういう状態にしたい): 建物を解体し、排水処理対策を施すことにより、土砂災害等を未然に防ぐ	事業の内容 (手段)	旧太華荘を解体し、排水処理対策を施す。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	旧太華荘解体工事(旧太華荘A棟、B棟及び付属家屋の解体、外構施設、受水槽、浄化槽等の解体、樹木の伐採等、上記解体撤去後の整地) 排水処理対策工事(舗装工2,710㎡、排水工50m、地下水排除工15m)								直接事業費	千円	2,511	60,320		
事業目標	目標名	-		計算式	達成項目/目標項目		単位	%						
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度								
	目標値													
	実績値													
	達成度(%)													
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否				
	①	旧太華荘解体整備事業 (施設等管理運営事業)	旧太華荘	建物の解体及び土地の排水処理対策を施す。	土地の管理に支障がないように適切な処理を施す。	工事完了 (建物解体・排水処理対策)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.18	0	32,594					
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
								改善案						
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	特になし(H26年度で終了)	前年度までの指摘事項	工事方法を検討のうえ、適切な解体・整備を行うこと。	指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点			

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた	B 実施方法やコスト等の見直しが必要	C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要	D 休止・廃止の検討	評価理由	建物や土地の状況に応じて工事を行った	改善案	特になし(H26年度で終了)
----	---	-------------------	-----------------------	-----------------------------	---------------	------	--------------------	-----	----------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	適切な土地の利用ができるように関係部署に引き継いでいく必要がある。
----	---	-----------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	
分野	
基本施策	
推進施策	

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	

備考

備考	